京城日報

十四日夕刊 (朝夕刊併せて八頁)

京城太平町通一丁目 發行所 京城日報社

露國の政變

▲勞兵會內閣組織さる 過激社會黨派の首領レニンの一派は勞兵會內閣を組織しレニンは總理大臣にツロツキーは外相にスコベレフは講和大使に任ぜられたり(露都電報)

▲ツ氏休戰講和提出 勞兵會內閣の外相たるツロツキーは休戰講和を交戰各國に提出せり(露都電報)

▲講和大使任命拒絕 スコベレフは講和大使の任命を拒絕せり(露都電報)

▲レニン一派沒落の兆 レニン一派のクーデターは沒落の兆を示しレニンは講和をケレンスキー氏の代表者に申込めりレニンは捕縛さるべしケレンスキー派の司令官は北部總司令官チェレミソフ將軍なり(露都電報)

▲露都形勢千變萬化 レニン一派驅逐さる 露都よりの無線電信に依れば露國の形勢は千變萬化の裡にあり今日迄の外國行露都電報は總てレニンの發信せるものなりしがケレンスキーの公明なる攻擊に依りレニン一派は驅逐されケレンスキー氏は今やツァールスコエ、セロに於ける强力なる長距離無線電信局を通じて事情を明かにし得るに至れり(倫敦電報)

▲莫斯科の市街戰 信憑す可き莫斯科來電に依れば去る十一日の日曜に同市にて市街戰起り激烈を極めたるが假政府は同市に於て漸次勢力を加へつゝあり(合同通信電報)

▲駐米露大使强硬 華盛頓來電に依れば米國駐在露國大使バクメチエフ氏は過激派の主權に服することを拒絕せり(合同通信電報)

▲露公使憤慨辭職 西班牙駐在露國公使は自國の紊亂せる國狀を憤慨し辭職の電報を送りたり(倫敦電報)

○英佛軍總司令官 ファイヤール將軍はヴェネチアに於ける英佛聯合軍總司令官に任命されたり(倫敦電報)

○獨墺攻勢對應策 聯合國閣員及び將軍はペッシラーにて獨墺の攻勢に對應せん爲め速かに執る可き手段及び聯合軍の協力に就きエムマヌエル陛下と會議せり歸國に先ち佛國首相パンルーヴェ氏は伊國に派遣せられたる佛國軍隊を訪問せり(巴里電報)

○米國陳述書一節 米國公使は支那外交部に對し日米共同宣言に關し米國々務省の陳述書を交付せるが其の內の一節に曰く『日本特派大使一行の米國訪問は極東に於ける日米兩國の利益問題を自由に且つ友誼的に討議するの機會を與へ之に依りて日本の政策は進略的ならざる事及日本は通商上の機先を制し或は地理的地位より生ずる支那との特殊關係を間接に利用せんとするの意思無き事を明白に表明せり○日米兩國政府は支那の門戶開放政策を遵守し兩國政府の關與する限り如何なる國民に對しても支那に於ける商工業上の滿足を得せしめん爲め機會均等を支持す可きを聲明す日米兩國は支那に於ける商工業等に日支兩國の地理的關係上他の國民の其れに比して遙に優なるものあり』と(北京特電)

◉日本郵船配當 當增資決定 日本郵船會社の今期配當案及び增資案は十三日開催の重役會に於て決定し配當は年五割五百五十萬圓を別途積立金と爲すこと前期と同じく增資一億圓は一株に對し一株四分の一の割當で殘り二百萬株は重役に一任す可しと(東京電報)

◉馬晉自動車開通 馬山晉州間自働車は十六日より開通の豫定なり(晉州特電)

(張總務課長、遠藤秘書課長[illegible])列席せり

◉對黑武力策 漸次に進行

張奉天督軍の黑省問題に對する武力解決策は其後着々進行し强兵を擁して北上したる吳中將は今や已に黑省境內に入りたるが中央政府は矢張り溫和手段を以て此問題の解決を圖らんとし前黑龍江省督軍たりし朱小派氏を派遣し英巴等の叛將を慰撫せんとせるも張督軍は絕乎黑省禍根の剿絕を期す可く强硬武力手段を以て一氣に英巴等を懾服せしめんと主張し之れに對する全責任を負へるより中央も終に張督軍の意見を容れて英順に革職を命じたり唯巳英額は年長にもあり且つ許蘭洲事件にも亦た此頃の問題に於ても其主動者は年壯氣鋭の英順にありて巴氏は寧ろ脅從の體なれば巴氏は革職されざるも結局辭任の外なかる可く之れが爲め黑省軍界の動搖甚しくして或は一事變の發生す可きを憂慮せられあるも張督の眼中には元より英も巴もなく寳子等を一蹴して黑省の廓清を圖らんとの意氣盛んにして頻りに前進せる吳中將等を督勵しつゝありと(十二日奉天)

◉政務總監設宴 山縣政務總監は目下入京中なる山本唯三郎氏一行を十四日午後六時三十分より朝鮮ホテルに招待し晩餐會を開き宇佐美內務部長官、工[illegible]

◉九月朝鮮經濟概況

九月初物價調節令の實施と內地米の暴落は忽ち朝鮮に波及し米穀市場は一時動搖を來たせしが中旬以降相場の立直りに伴ひ[illegible]四千八百七十餘萬圓に達し[illegible]滿洲に於ける其の流通額を[illegible]增加せしが[illegible]萬二千餘圓合計二百五十九萬二千圓[illegible]出二百八萬九千餘圓、輸移入五千[illegible]減少せり(但前年同月に比し輸移[illegible])易額は前月に比し百六十餘萬圓を[illegible]移入不振等に依り本月に於ける貿[illegible]も綿絲布暴落の後を受け金巾類の[illegible]少せしのみならず輸移出額を減[illegible]の暴落を見る事はなからうと云ふも[illegible]

全羅北道の當り年

移出米收入千五百萬圓を超ん

▲米收百五十萬石 本年朝鮮の米作は總督府の豫想發表が屢々示すやうに各道共初夏の旱魃に祟られ之れを昨年に比すれば槪して良くない、京畿道然り、忠淸南道然り、全羅南道亦然りである、忠北や慶北や江原はいくらか前年より增收の數額は僅かなものだ此間に於て全羅北道のみは其の增した字を提示してゐるが、全羅北道は百五十萬石の收穫豫想を發表し、而して大正五年に比し約二十萬石の增收を示したのは、實に全羅北道の當り年ではあるまいか、各道本年の米作は去年より惡い、よくても僅かであるが然も全北は其の增收が圖抜けてゐる、全北の農民が歡聲を擧げ朝鮮各港の米商人が全北を包圍せんとし、全北の商界が昨今豐作を祝して活況を呈してゐるのは至當な當然である

▲米高と道內の歡喜 全北の當り年は增收ばかりでない米價の極めて好氣配な事は豐年の全北を膨しく喜ばした、乃ち去年の米價は十月から十一月十二月と平均して上米石十二圓より十三圓であつた、歲暮に迫つて僅ほ二三圓の値上りを見たが、要するに收穫前後から大節季までの米は十二三圓臺を稱して宜しい、然るに今年は怎うか、十月の平均が上米石二十圓を少し出てゐる、而して昨今二十圓五六十錢を唱へ乃ち[illegible]値である、約七割方の騰貴である之れを金高に換算すると怎うなるか、全北の消費米は瞬年の調査によると約八十萬石である、其の消費米を除いた殘高は乃ち移出能力を有つてゐるのだが、それが今年は約七十萬石に達する、其の七十萬石を去年の米價に直すと約九百萬圓內外のものと見て大過はない、然るに昨今の米價で評價すると一千四百萬圓に達し、乃ち本年全北の收むる增收は昨年の價が上つたと云ふ丈けで五百萬圓である、況や昨年は米作不況で收百三十萬石を超へ移出米は五十萬石以內に過ぎなかつた、結局昨年の全北米價は安く移出米は少ない、然るに本年の全北は米價はよく移出米は極めて多い、昨年の移出米の評價に本年の移出能力を有する米價を比較したら……恐らく本年の米收は昨年に比し七八百萬圓の收益增を見るべしと斷じて差支へなからう、誠に今年は全羅北道の當り年ではない乎

▲水利事業の效果 而して全北は各郡共米の收穫を既に移へた、天候が理想的でないため若干其の乾燥上に顧慮を要するものゝなきにしもあらずだが既に大勢は極つてゐる、又米價も諸物價の騰貴に正比例し今日の値を示してゐるのであり、又內地の作況や需給關係などから觀察し、假に其[illegible]

◉迎日水利組合

迎日水利組合にては水揚機械の破損に據る諸費用の增加並に時局に聯騰する諸物價騰貴の爲め左の如く豫算追加の上豫算更正を爲す事に決し本月二日附を以て其の筋に屆け出でたり(大邱)

▲歲入 經常費既定豫算[illegible]臨時費[illegible]

▲歲出 經常費既定豫算[illegible]臨時費[illegible]

にして更正豫算は[illegible]

◉稀なる黑鉛鑛床

延長一里幅員七十間

去る五月當局より採掘許可ありし[illegible]

▲八十五萬坪 の一大鑛區

推定鑛量一萬噸を超過すべく[illegible]に於て其の豐富なる點に於ても約二千餘箇所の鑛脈[illegible]區中稀に見るの大鑛量を包藏し然も生產品は坩堝用に適當なる大鱗片に富み之れをフロテーションの方法により再製鍊をなす時は炭素品位九十五パーセントの最良品を

▲精撰供給 すべく龜井氏に於て採掘を行ふに至らば朝鮮黑鉛の產出は俄に增加すべしと

▲耳目を聳動 も諸種の事情より一時問題を惹起し其の成行に就て朝鮮鑛業界の耳目を聳動したる平安北道泰川郡長林面所在の鱗狀黑鉛鑛區は其の先願者なる平南新安州福井黑鉛鑛業所福井武二郎氏の手に買收する事となり十四日總督府に鑛業權讓受の登錄申請を了せり尚ほ同鑛床は平北泰川郡及び博川郡の中心地點に存在し鑛脈の幅員七十間延長一里に亘る長成鑛、興洞、梧南洞、梧石洞、取頭洞の四洞に跨り其の許可面積[illegible]

◉警察官異動

十一月十二日附命令を以て左記の通り警察署長に異動ありたり

補群山警察署長 渡邊宇太郎

補[illegible]警察署長 神崎稼一

補鍾路警察署長 寺島才二郎

京畿道警務部勤務を命す 永野清

◉隊署長會議 京畿道警務部管內警察署長會議第二日は十四日午前九時三十分京畿道廳內官化堂に於て開催午前管內狀況報告午後指示注意事項術科等あり同四時散會せり

◉村田課長出張 總督府技師鑛務課長村田素一郎氏は往復約二週間の豫定を以て十四日朝南大門驛發北鮮方面に出張したり

◉鮮銀券發行週報 十一月四日より十日に至る鮮銀券發行高は五千四百五十八萬六千百二十三圓なり

◉新參事任命 缺員中なりし黃海道安岳郡參事は十一月八日附を以て金奎朝氏任命されたり

◉古海總長歸任期 陸軍特別大演習陪觀の爲め目下滯京中なる古海總務長は來る十七日京城著歸任の旨出張先より電報ありたり

◉持地長官歸京 釜山大邱方面に出張中の持地遞信局長官は十五日午後九時南大門驛着列車にて歸京すべしと

◉鶴田總監動靜 朝鮮各地守備隊衛生狀況視察の爲め來鮮中の陸軍省醫務局長鶴田軍醫總監一行は十四日午前九時十五分龍山驛著直ちに軍司令部に赴き各部長に挨拶し更に總督府を訪問し[illegible]午後は總督府醫院及び昌德宮を訪ひ敬意を表したる後朝鮮ホテルに投宿したり因みに十五日午前九時三十分南大門驛發列車にて元山に向ひ其れより順次北鮮各守備隊を視察する筈

◉小野軍參謀出張 軍司令部參謀小野大尉は十四日朝龍山驛出發山晉州鎭海方面に於ける地理實査並に步兵第八十聯隊將校現地戰術實査の爲め出張したるが歸任は本月二十日の豫定なりと

◉川上理事去來 東拓理事川上常郎氏は米山庶務課長、關屋土木課長を從へ十日午後四時九分來邱同役員等千閣に於ける官民有志の招宴に望み十一日大邱東拓出張所を視察し十二日安東へ向け出發せるが近く尙州、金泉、忠州、淸州を視察して歸任すべしと(大邱)

開原の一夜

中島司

(十一月十日開原にて)

八日朝奉天に著し一泊して翌九日午後零時四十分發列車にて北行せり。目的とする所は、開原を見て長春に赴き、歸路四平街に下りて、鄭家屯の四鄭鐵道の現狀を視んとするに在り。長春には京城日報奉天支局の金谷眞君と同道するを得たるで獨旅の寂寥を免かれ、偶ま滕栗毛の感もありて、甚だ愉快なりき。奉天を發して幾何もなく、曇天雪を下して、滿洲の曠野は忽ちに白化し了せり、三時三十五分開原に著すれば、驛頭には鮮銀支店長後藤登丸君の來り迎へらるゝあり、霏々として降る雪の中を、歩して直ちに鮮銀支店に入る。まだ四時にならざるに、早や黃昏の如く、開原は一昨年夏野田大塊翁と滿洲旅行を試みたる際、四平街に[illegible]かなる開原の町は、[illegible]の一驛にでも行きたるかの感じありしが、君も喜び、我れも喜び、今開原に在り、て相識りしが、君今開原に在り。まで暖爐の前に相語りぬ。此夕、後藤君等と驛に赴き迎送したり。五時半に東拓總裁一行長春より奉天への途中通過すると聞き、石塚總裁は開原に下車の豫定なりしが、之を廢して其儘素通りせし故、開原人士の失望は大方ならざりき。此夜後藤店長は、余等の爲めに、料亭二葉に淸宴を開き、土地の有力者を招じて、余等を紹介し、開原地方の情況を知るに十二分の便宜を與へ、地方有力者と膝を交へて、遠慮なく交歡するを得しめた、香田驛長、神[illegible]保地方事務所主任、吉田取引所長、事務取扱、菅原取引所信託會社專務、木村開原信託會社專務並に友信洋行の佐竹氏、鮮銀の西澤氏等なりき。開原と云へば、滿鐵沿線の重要驛也。大豆の出廻りのみにて、年に三十三萬噸の多きに達し、長春に次ぐ大量輸送驛にて、經濟上の地位重大なるにも拘らず、滿洲視察者の多くは、此驛を閑却して、常に通過し去るは、不屆至極也。東拓總裁の如きも、本日通り過ぎたるは怪しからぬ。併し我等が態々下車して吳れたるは、大に多とする所。嬉しくてならぬ故、今夜は寬くり吾等の話も聞いて貰ひたし、とは有志諸君の心中にて、余等も充分開原通になる積りにて、遠慮を置かず、深夜まで語り續けたり。

「古阜から群山へ」

別府生

(十二日群山にて)

古阜水利起工式が終つてから、小生は井邑郡守の金泰斗君と車を列ね、大急ぎで更にぬかるんだ道を井邑停車場に馳けつけた、群山に向ふためである、金君は小生を見送つて、驛から約二十町もある邑內に歸つた

▲五六年前、まだ金君が全北の一道書記であつた時代から小生は君を知つてゐる、見た所三十四五の若年で未だ嘗て內地に行つた事もないのに、君は內地語の發音も語調も、普通の內地人より餘程上手である、頭腦も惡くないので、[illegible]

▲湖南線の北行列車は例によつて約四十分程遅れてゐた、五時半發の列車が井邑を出たのは六時すぎであつた、遅延を豫測し、若し遅れねば井邑泊の心細で古阜を發した小生の見込みは巧く當つた、恰度具合よく發車の間に合ふ、列車は闇を衝いて緩々と走り、七時五十分裡里に著く、此驛で群山行きを二時間餘り待ち合はした

▲小生が全北の生活を去つて滿五年になる、其間湖南線に入つたのは今度で六回目と思ふ、其の度每に裡里の町は必らず烏渡でも覗く事にしてゐる、湖南沿線中最も發展しつゝあるのは此の裡里である

▲裡里は全北平野の中心地點であると、群山支線の分岐點であるので、此の地の利を占めた裡里が段々市勢を張めて行くのは當然であらう、湖南線通過の決定せぬ以前、乃ち明治四十三四年頃內地人二三十人の時代に比すると、今日の二千人は百倍の激增である

▲裡里を午後九時四十分に發する列車で群山に志す、汽車の中では容易で眠らぬ小生も、いつかウト〳〵と夢心地で群山に著いた、考へて見ると、今日は午前の四時に目を覺ましてから殆んど絕間なく汽車や俥に揺られてゐる、大分疲れた故らしい

▲俥で谷口旅館に馳けつける、寢[illegible]

人事消息

▲今野清氏(土木局技師) 十二日より江原道管內へ出張

▲八島明氏(同上) 群山へ出張中の處十日歸任

▲新田留次郎氏(鐵道局技師) 十四日より蔚山へ出張

▲田中賢吉氏(京城女子高等普通學校敎諭) 十二日附を以て釜山、大邱、群山各地へ出張を命ぜらる

▲川端鹹助氏(總督府事務官) 十日附を以て慶南天安へ出張を命ぜらる

▲中村新太郞氏(總督府技師) 同上

▲中村時章氏(醫學士) 十三日午後より歸京

▲李海昇氏 十三日夜東萊へ

▲松井元山稅關長 十三日夜東京へ

▲大塚常夫氏(京城府長) 十三日夜歸京

▲奧田貞次郎氏(代議士) 十三日午後入京朝鮮ホテルへ

▲河合法學博士 十三日午後來京

▲矢野釜山稅關長 十四日午前退京

▲小林錄之助氏(明治鑛業支配人) 十四日午前內地へ

▲尾崎敬義氏(代議士) 十四日內地へ通過

▲林金五郎氏(東京株式仲買人) 十四日午前入京巴城館へ

▲平壤高等普通學校職員生徒三十名 十四日午前入京

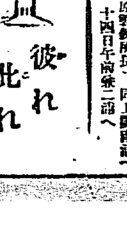
▲酒句秀一氏(總領事) 十四日午前元山へ

▲齋藤音作氏(營林廠長) 十四日午前退京

▲小磯元司氏(久原製鍊所長) 同上鎭南浦へ

▲片桐三造氏[illegible] 十四日午前[illegible]へ

彼れ此れ



○タイムス曰く、今の處聯合國は、露國の成行を、傍觀するより他無し。但し革命の結果として、一度は危局の頂點に上り詰めずんば、眞の安定を得る能はざるべし。是れ各國歷史の、證する所なれば也。而して安定したる、其の露國が、單獨講和に出づべしとは、信ずる能はざる也と。蓋し大勢の推移、タイムスの觀測の如けん。

○ケレンスキー氏の、總司令官として、宣布せし軍令は、悲壯を極む。瀕死の境に在る祖國を救出せよ、予は大元帥として、自己の任所を固持す可しと誓ふと。孔明の出師表を讀んで、泣かざるは人に非ずとせば、ケ氏の宣言亦然り、脆兒を蹶起せしめん。

○生死の巖頭に立ち、重圍の中に閣議を續け、泰然不動、思慮周密を失はず。冬宮占領の危機に際し、飛行機に搭じて、露都を去りし彼ケレンスキーの豪勇沈毅。其の捲土重來や、頗る見るべきものあるべし。

○遮莫、露都の狀況は、電報頻々たるも、其の眞相に至つては、未だ容易に、信ずべからざるもの有り。暫時はタイムスの、所謂傍觀せんのみ。

□說句二つ　虎耳

歸朝せる堤林博士に
千年を降り幡居の涙の菊

和田兩手の競技優勝を得しご聞きて
多芬の筒音高く猛者振り

十一月一日現行

盛んなる提灯行列

滋賀縣下水害狀況を聞し召さる

十三日　大元帥陛下彦根御著の夜彦根町中學校生徒竝に各小學校兒童及び町民は提灯行列を催せり其人員萬餘に上り蜿蜒盡くる處を知らず就中大本營たる中學校裏なる上片原の城濠には滿々たる水を湛へたれば此處を通過する提灯行列の灯影は水に映じて紅龍躍るが如く天地に響く萬歲の聲は城山の松籟を止め國民の至誠を披瀝し未曾有の賑ひの裡に光榮ある彦根町の夜は更けたり。此日　陛下には松井滋賀縣知事を御側近く召され縣下水害の狀況につき種々御下問あり知事は恐懼して現狀を奏上し漸次減水しつゝある旨御答へ申し上げたるに御安堵の御模樣に渡らせられしと洩れ承る（彦根にて中谷特派員發電）

▼御質素なる行在所

御不自由の御生活を忍ばせる

大元帥陛下の行在所は諸設備極めて御質素なるが各宮殿の御旅館も至極簡易にて不自由なる御生活を忍ばせられつゝあり、田中參謀次長語りて曰く『今回の演習には例年の如く御野立所の設備を爲す日々の戰況に依り隨時便宜の場所にて御統裁遊ばさるゝ事となり諸事御不自由を忍ばせらるゝは申すも畏多き次第なり』又大島陸相は曰く『今回の演習は歐洲戰亂の教訓に依る新計畫なり又大演習を例年に比し一日短縮したるは經費を幾分節約して次ぎの大演習に利用せんとするに外ならず』（彦根にて中谷特派員發電）

▼兩軍最初の雨中戰

大元帥陛下野州行幸

十三日夜來降雨霏々として歇まず十四日野州附近にて南北兩軍の雨中戰あり　大元帥陛下には午前十一時野州に行幸遊ばされたり飛行隊は午前七時よりプロペラーの音勇ましく雨を衝いて飛ぶ（彦根特電）

亂麻の如き露都

今度の政變は何して起つたか

陸軍少將　宮川義孝氏談＝其一＝

陸軍少將宮川義孝氏は砲工學校在任中大正四年歐洲戰亂の勃發當時露國政府の懇請に因り大砲並に之れが指揮を學ぶべく我將校が氏が率ひて露軍に從軍し各地に轉戰して精英なる我武器の威力と勇猛なる我戰士の腕前を顯はし敵軍の心膽を寒からしめ我帝國の武威を發揮せしめたる殊勳を擔ひつゝ歸朝の途十三日京釜線を通過せり記者は同氏を三浪津に迎へ露國現下の政變に對する模樣を聽く

今回露都ペトログラードを出發せしは日本暦の十月三十日にして其時の狀態は更に知る由なし南滿鐵道に乘換へて初めて今回の露都政變を內地新聞に因りて承知したる次第なれば其當時及び其後の經過に就きては

▼如何なる成行に進みつゝあるかは

素より語ることを得ず然し此度の政變は少しく以前より兆し居たる形跡あり露暦九月末のことゝ覺ゆ過激勞働黨の要求に因り勞兵會の大集會を露都に於て開催したるに其會議の問題に上ぼりし種々の條項中過激勞働者側の提案に因れるものは殆ど否決せられたるを以て過激勞働黨側の反感を買ひ之に對し應ずべく露暦九月十七日に示威運動を爲さんとの噂ありしも同日は何事もなく同月廿日頃迄延期せりと聞きたるが之れが動機となりて此度の騷亂を發せしものにあらざるかと推測す、同黨の首領と仰がれ居るレーニンは

▼如何なる閲歷を有せる人なるかは

之を詳かに知るを得ざれども露國政府の最も憂ひしは社會黨の首領にして常に露帝國政府時代には彼れを捕縛せんと政府の苦心探索を行ひしも遂に捕縛するに至らざりしに去る三月露都に革命の起りし際瑞典より獨逸を經て歸國し無智の農民に對しては耕地平等分配の主義を貫徹すべしと號し勞働者に向ふては資財分配の好餌を約し下層國民を煽動して國內の惑亂に勉め居りしものにて一部農民及び勞働者は同人を強く信仰し居りしも少しく事理を辨明せるものにありては彼は

▼全然獨逸の意を承け居るものゝ爲

し居たり、然れども現在の露都は勞働者及び兵士の勢力總てを壓し勝手氣儘の振舞に委せざるべからざる狀態にあるを以て各自思ひ〳〵に派を立て黨を作り自黨自派の利益たるべき主張を以て資本家に對抗するを以て各種工業の如きものも多くは其事業を閉鎖し地方に避難するもの少からずされば地方民は失職の勞働者及び無賴兵士の掠奪に恐れを抱き露都に避難し來るものありてその混亂の樣名狀すべからず斯かる狀態にあるを以て假政府及び勞兵會等に於て決定したる事柄も更らに信を置く能はず

▼從つて露都の住民は一日も意を安

んじ業に從ふことを得ず所謂昨是今非唯其日の成行を觀望して兢々として日を送るに過ぎず斯かる狀態に在るを以て勞働者の如きは不當の勞賃を強請し意に滿たざれば應ぜざるのみならず反抗して暴力に訴ふ等の事敢て珍しからず停車場の如きも勞働者が旅客に對する態度實に寡慢を極め手荷物にても大形荷造りは其取扱を拒絕し旅客をなして手古摺らせ甚しきは掠奪し去らるゝこと間々あるを以て何れも萬一の際は自己に持運びを爲すを得る小形の荷造をなし從來の大型トランクの如き旅具は一切携ふること能はざる有樣なり之れを推しても一般の狀態を察せらるべし（釜山）

◎猛獸に殺さる

京畿道始興郡果川面莫溪里林仁奉長男林萬擧（九）は十一月四日午後八時頃外出先より歸宅の途中猛獸に咬殺され居るを程經て發見したるが多分豺の所爲ならんと

◎石本代議士無効訴訟上告

憲政會所屬高知縣選出代議士石本鎭太郎氏に對する當選無効の訴訟は曩に大阪控訴院にて原告岡田榮氏の勝訴となり被告柿沼高知縣知事の敗訴に歸せるは既報の如くなるが憲政會高知支部にては今回石本氏を立たしめて大審院に上告せり（大連特電）

◎新高歸る

二年間の長航を終へて

出征後二年間支那海より南印度洋方面警備に任じ驅程五萬浬實に地球を二週半の長航を續け任務を遂行せる舞鶴鎭守府所屬軍艦新高は十三日歸航せり（大阪特電）

◎虎狩隊の動靜

十五日朝元山へ

山本唯三郎氏一行の虎狩隊は十二日入京以來市內各所を見物し觀戰新聞記者團と十三日昌德宮及び南山を見物の上同夜千代本に於ける山本氏の招宴に列席し十四日は又も市內各所を見物し愈々十五日午前九時三十分南大門驛發元山に向ふべしと

◎柴の盜伐から

棍棒で撲殺

京畿道漣川郡郡內面東邊里居住の鈴木初太郎（三七）は十月二十六日邑內面居住の金字克（七〇）が鈴木所有なる君子山に侵入し柴を盜伐中を發見誰何したるに反つて反抗したるより有合はせたる棍棒にて字克を撲りつけたるに同人は其の歸途鐵道踏切り附近に打ち倒れて遂に絕命するに至り初太郎は漣川憲兵分遣所に逮捕取調べの上檢事局へ送られたり

ホテルは何處も素晴しい繁昌

歐米人の往來が頻繁になつた

ホテル主任會議の爲め內地に出張中なりし朝鮮ホテル支配人猪原貞雄氏は此程歸京したるが其談に依れば從來日本に於けるホテルの經營は困難で

回**營利**の目的を以てしては到底維持經營する事は出來なかつたのであるが時局の影響上最近一箇年間に於ける營業狀態は空前の好況を見るに至つて

回**我邦**ホテル業の發展は素晴しい者である、此れが原因は言までも無く歐米人の往來が頻繁になつた結果に外ならぬ即ち

回**時局**の發展に伴ふて米國と露國との國際關係益々濃厚となり經濟上の接近は愈々密接して來たゝめ日本を經由する米露國民の來往が繁くなり、

回**著目**する米國資本家も又黃金の洪水の餘勢に驅れて踵を接して支那に向ひ、其他軍需品購入の爲めとか獨逸より供給を仰ぎつゝ有つた商品の補充の爲めにとか

回**渡來**するものなどがあつて此れが爲めに大阪神戶東京橫濱などのホテルは毎も滿員で殆ど部屋の需めに應ずる事が出來ない、就中神戶の如きは日露戰爭前の大繁昌以上の景氣を呈し本年の

回**春迄**悲觀して居た橫濱も同樣長崎のホテルなどに至つては一時閉鎖して居た者が最近再び開業すると言ふ狀態であるから一般が推して察せられやう之に反し

回**春秋**二季の觀光客を書入れにして居る日光京都の如き名勝舊蹟地には訪問客がぐつと減じてホテルは閑散を極めて居るとは世は樣々である斯樣に外人探勝客は殆ど跡を絕つて實業界の者が

回**往來**するから普通ならばホテルも安價實直主義で客を迎へねばならぬが昨今の客種は算盤の桁を外れた大成金か若くは大資業家計りであるから從つて

回**贅澤**三昧に耽つて從來の安い部屋から賣れた者が昨今では上等の部屋から賣切れるので物價騰貴の影響などは蚊にさゝれた程にも感ぜぬと言ふ好況氣である今後は斯る

回**狀態**が何年間繼續するかは豫想する事は出來ぬが兎に角我邦のホテル等も大に擴張發展して將來觀光客を招致する上に於て好影響を齎らすであらう

◎電車と自動車

十四日午前八時九十分頃京城電氣株式會社の龍山行八十七號電車が南大門通二丁目二十二番地先を進行中京春自動車商會の春川行十七號自動車が救助網に衝突して破壞せしめ自動車にも輕微の損傷を受けしが乘客には異狀なし

讀者文藝（一時に五十錢を呈す）

▲俗謠「鷹」

○籠に捕れた小雀の身よこわい一夜の夢抱締（一等）　利川　花卿

▲ごうせ世は鷹の目鷹の目誰にも隙けまい　倉前甲　うらなり

▲[illegible]　龍山　岡本小夜子

▲[illegible]　釜山　小夜子

▲[illegible]　釜山　俠雨

▲[illegible]　京城　小雨生

▲[illegible]　奉天　ともね

◎廣安眞隨師

淨土宗開教總監廣安眞隨師は十四日元山觀光寺本堂地鎭式に臨み十三日より十五日迄夜同地にて布教す

大演習前記

▲偉い人の洪水

彦根にて　青霞生

◆昨今の彦根の賑ひは實に開闢以來である、いよ〳〵正月とお祭りと誕生とが一時に押寄せて來たやうな騷ぎである、魚市などの景況といふものは素晴しいもので各地から驛へつく魚荷のお拾仕に然るべきものといふ註文で[illegible]

◆旅館料理店飮食店の活況はいはずもがな、お宿を承つた町家でも人手が足りなく[illegible]

◆それから寢具の不足人力車の不足、有樣[illegible]

◆その代り町は辻門や國旗提灯打毬などで滿ち、京都の御駐輦の町以上の光景を呈してゐたが、これは新に開け行く目覺めた都市の狀況を見せてゐる

◆驛前の大鉄門には勿論其他各處の鉄門は夜に入ると眩ぶしいばかりイルミチートされる、文武官の來往、陪觀者の入町、小旗を立てた人力車が飛ぶが如くに馳せ違ふ、中產以上の家は悉くお宿を申付かつて居る、そうでない家も親族知己の陪觀者がやつて來て泊り込む、町の人は半分以上逆上つてゐる、彦根町へ落ちる金も大きいが出る金も大きいさうシて居るものもある

◆高位高官の偉い人が雨の如くに驛頭から縫りそゝいで來るのだから堪らぬ、驛長や町役場の吏員は眼のまはるやうな忙しい日に逢つてゐる、それ何々高官のお著きだ、二人餘も[illegible]

◆東員諸官町の接待委員統監部の受付[illegible]

灯とも頃

昌德宮內大造殿燒跡の灰燼中には殆んど數萬圓に値すべき金物の燒殘りが埋れてゐるので氣早の市中商人中には內々拂下の公告の出るのを待つてゐる者が多い▲所が聞く所に據ると、今度の金物の燒殘りは一切民間に拂下げず王家の手で夫々改鑄して新造殿の材料に充つるさうである▲燒殘品中に手提金庫があつて其中に何千圓といふ十圓紙幣が藏つてあつたが永く猛火の中に在つたので、火災後取出して蓋を開けると中は全部灰になつてゐたとは惜しい▲併し灰とは云ひ條、ちやんと形を崩さずに原形を存して紙幣の文字も瞭々と讀めるが、手を觸れたら最後滅茶々々に崩れて了ふので、其儘保管してあるといふ事だ▲何とか藥液の力で之を凝結せしめて切めて枚數なりと檢鑑して解る樣にしたら銀行の方へも何うにか交渉が附きさうなものだと云つてゐた鮮人官吏があつた

白馬ウ井スキー　は斯界の權威にして唯一の英國スコッチ元詰輸入品なり

大阪期米　十四日前場　大阪期米

至り大阪の小高き入電に接し六十二錢迄上伸し一旦五十九錢と近りたるも更に六十錢に返へし二錢を採み合ひ遂に一錢と強硬の

平均段値　[illegible]

◎連絡船上陸客　十二日午後十時三十分釜山入港壹岐丸一二等客

讀者文藝課題及募集規定

□募集規程　▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事　▲[illegible]

天氣　晴れ後曇り

商況

債券現物特電　[illegible]

公債直取引　[illegible]

深川在米特電　[illegible]

東京期米特電　[illegible]

大阪三品特電　[illegible]

大阪期米特電　[illegible]

下關期米特電　[illegible]

雜報

年度に比し一層甚し 支那粟も産地不作

[illegible]

◎鐵解禁と影響

[illegible]

不明なる爲め一向に反響なし 解禁內容の

[illegible]

崩れ相場は免る能はず 人氣的に據る氣

[illegible]

◎罐詰松茸強硬

[illegible]

◎蜜柑弗々入荷 約二圓五十錢方騰貴

[illegible]

京城正米

[illegible]

◎綿糸布跳返す 米棉五十五錢高

[illegible]

十錢乃至十五錢方引返へし

[illegible]

◎期米沸騰す 二回米作豫想の減收發表に突 怨買氣勃發し

[illegible]

中三十五錢先三十丁近く昂騰

[illegible]

一旦は或程度迄相場の下落を促す

再び米價向上の機運を作る

事望み難く需給關係は前

[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

釜山穀物（十三日）

[illegible]

生魚市場

[illegible]

▲仁川期米 十四日前場（昂騰）

十三圓三十八錢高に寄付た　兵庫前寄二十三圓三十九錢、大阪天候晴天　昨止り買に六十一錢大上放れ入電に　一二十圓と沸騰す　五十七錢と新高値に沸騰し更に　京一十三圓六十錢東　兵庫三十九錢東　兵庫二十五錢下の關　京七十五錢東

[illegible]

市場雜觀

平地に波瀾を起すが如き手段

[illegible]

▲受渡紛擾の眞相

[illegible]

前檢查印を抹消し受取方を拒む

自己の受取米を粗惡米と稱し

何日も受取米の一部を犧牲

[illegible]

各地の第二回豫想 數字少なからず

新高値に大暴騰

十一石七步强の減收

十五萬千七百三十一石　豫想五千四百九

[illegible]

仁川米豆取引所　十四日の一月限

[illegible]

田中金兵衛商店　仁川米豆取引所仲買人

確實　迅速　（マ）廣澤五次郎　仁川米豆取引所仲買人

△十四日拂場
△大阪投寄 鑁はらざる入電にて中十九圓九十八錢先五十錢と寄付たるもヂリ〳〵上鞘を伸び三節に
△中限 …十九圓九十八錢…二十圓…十九…圓九十九錢二十圓平均値段二十圓
四節二十圓
△先限一節十九圓五十錢一錢二錢三錢二錢三錢三錢四錢三錢二
十四日の一月限
後場 寄付 十九圓五十 止メ値 十九圓六十一錢 高値 十九圓六十二錢 安値 十九圓五十錢 出來高 …

●男女職工の引っ張り凧
忙しくなった大田の工事界

米も薪も炭も反物も何もかも暴騰する結果は各階級を通じて近頃の樣に物價が上りては異口同音に零ぼして居る樣であるが世の中は面白いもので其の半面には成金と云ふものが出來てお錢の遣ひ處のないのを苦にする向もあるとか然るに近頃の職人間の景氣はどんなものかとさる親方に就て聞いて見ると近頃內地の景氣の好い反動として朝鮮の職人界は

▲大工、石工、左官 凡ての職人共拂底で一人の職人を雇ひ入るゝにも容易に得られないとの事である近い處で大田の工事界を覗いて見ると太きい處では京城淸水組の請負にかゝる大田兵營の增改築工事が總工費ザット十五六萬、其の次に京城間組の請負で目下基礎工事中なる大田停車場の工事が五萬何千圓で其の他小さい處では民間の小工事が冬籠の準備や何かと頗る多忙を極めて居る爲め大田職工組合の大工の公定工賃は

▲一圓五十錢の 定めではあるがイザ雇ふとなれば二圓も二圓二十錢も出して拜み倒さねば容易に來て吳れない隨つて淸水組などになると本年一杯と云ふ期限があるので若しか大工、左官、其他の職工に逃げられでもすると期間內の間に合はぬ恐れがあるので憲兵隊の附近と大田驛の近所に是等職人の逃亡を監視して居ると云ふ仕末である又一方停車場工事の方は既に基礎工事も出來上るしソロ〳〵大工を增して建前に着手しても好いのであるが何分職人の拂底と工賃の高いのを顧慮して

▲來春の解氷期 までは工事を進めぬ方針を執つて居る此の現象は大田のみではなく釜山も大邱も京城も龍山も平壤其他も同じ事で手の空いた職人さへあれば彼方からも此方からも引ッ張り凧の有樣で一方の親方から他の一方の親方に添書でも付けて遣れば一人に付忽ち十圓の報酬は貰へると云ふ景氣である夫れ程の勢ひならば何故內地から職人の輸入を計らぬかと云ふものがあるかも知れないが內地は朝鮮以上の景氣で拔群の伎倆のある職人になると一日

▲二圓五十錢も 三圓もの賃錢を要求すると云ふ有樣であるから殆んど手の付け樣がない今年はどうした風の吹き廻はしか例年より結氷が早く諸處の工事は夫れ丈け後れ勝ちなので大小の請負者側の心配も亦一通りでないらしい隨つて小工事中工事の請負等は出來る丈け延ばす方針を執つて居るのであるが來年の解氷期匆々も亦職人の拂底は知れ切つて居る斯う言ふ樣な譯であるから職人の

▲懷中は常に 膨れ勝ちであらうと想像されるけれども、人間就中職人と云ふものは取れば取る丈け氣前好く遣ふ方で譬へば二圓平均二十五日働くとしても五十圓の收入ある筈だけれども懷の中に温まる金は却々尠ない相である、それは兎もあれ大田地方の來春の大工事はどんなものが出て來るか、今冬に一寸目立つた工事は大田橋の板張替へ第二大田橋の新架設と大田小學校の增築とあるが中學校や監獄がもしか新設されるものと見れば當分職工連の天下であらう

◎群大間航路 開始

◆物價の調節 は需給の調和を圖るにあり、需給の調和は交通機關の完備に俟たざるべからず而して之に伴ひて工業勃興し農事の改良又意義を有す、大川、群山間の交通機關が稍もすれば圓滑を缺き群山の商勢圈內たるべき大川が觸々仁川の爲に侵略されんとする傾向あるは地勢上より見て極めて不可思議の感なきにあらず隨て物價又時に不測の高低あるは需給者にとりて極めて苦痛事たり最近大川に於ける有力者は大に此點に鑑み群大間の交通機關を完備せん目的の下に

◆大川航運社 を組織し社長南源五郎幹事竹中福太郎、阿形宇之次郎外數氏經營の任に當り先川既に使用船の進水を終り目下汽機の据附中にして第一號噸數十九噸馬力二十諸般荷客の運輸を營むと共に漕船業を兼營せんとす、本事業たるや單なる營利を目的とするのみと斷ずべからずして其主なる點は大川地方の進展向上にあり故に、忠南道は之に對して年五朱の

◆補助金下附 を爲し其發展を奬勵し出資者に對する利益配當を間接に保證せり、大川航運社の使命が地方開發にあるは推して知るべきなり而して現に使用すべき船舶數は一隻なるも事業の展開に伴ひ逐次新造すべき計畫にて將來群山、大川間のみならず忠南沿岸各漁場間の聯絡航路をも開始すべき目論見あり、是が實現の曉に於ては漁場に於ける海産物は仕向地に對して速達せらるべく從て一般の蒙る利便極めて至大なるものあるに至るべし現在群大間の航路が平均十二時間乃至一晝夜を要せしもの本航路開始と共に

◆僅に四時間 を以て運輸し得べく朝鮮の寄港と相俟て海上交通の面目を一新するに至るべし而して之が主要の荷物としては米を首位とし林木海産物之に次ぎ其他雜貨等にして大川地方の利益のみならず群山方面に於ても商權の擴張上非常に有利なる結果を見るに至るべし從て大川航運社の組織は忠南西部の寶庫を開拓すべき急先鋒と稱するも過言に非ざる也（群山）

◎日米宣言と平壤の外人

日米新協定成立の報傳はるや平壤に於ける外國人宣敎師は好感を以て歡迎し最近米國宣敎師を訪問したる平壤の某官吏の談を聞くに日米新協定は將來に於ける東洋の平和を確保し倘太平洋の警備が滿足に且つ安全に行はるゝに至るべく隨つて米國が大西洋に於て活動する上に於て何等後顧の憂なきに至るべくこれと共に米國が自己の軍隊を英國に向つて進むることをも得べし又米國が日本が支那に於ける各種の利害關係を有することを承認したるが此結果は支那に在留せる英米人の身體生命財産の安固を保障せられたるものなりとも云ふことを得べし要するに本協定は日米兩國の國交を益々敦厚ならしめたるものなれば我々在留米人は最も幸福なる利益を享受したるものなりと語りたりと（平壤）

◎平城手形交換
愈々明年一月より實施

朝鮮に於ける現在の手形交換所は京城、釜山、仁川の三箇所のみなりしが今回平壤四銀行に於ても從來の便宜手形交換を廢し純然たる手形交換組合を組織することゝなり平壤郵便局をも加入せしめ來る大正七年一月一日より實行することゝなりたるが之れにて朝鮮全道に渡り四箇所の手形交換所を有するに至りたり因に本年九月中の各交換所に於ける交換高を示せば京城三萬九千三百三十三枚金額一千百六十五萬三千百三十九圓八十九錢釜山一萬一千五百二十枚金額三百六十二萬八千四百十四圓八十九錢仁川四千七十七枚金額二百七十五萬八百四十五圓平壤便宜交換四千五百八十九枚金額百六十三萬七千圓なりと云ふ依之觀之平壤は手形枚數に於て仁川の上位にありと云ふ可し（平壤）

◎大邱大豆今昔
出穀統計と價格

本年新大豆出廻り始めより十月末日迄に於ける大邱驛に集散したる合計數五斗入三千四十五叺四斗入一萬八千六百六十八叺にして合計九千百八十六石七斗なり今累年統計と其價格を徵するに大正三年は同期に五斗入三千四百〇九叺にして其時候に應じ賣却したる總金額一萬一千四百八十一圓七十五錢大正四年は同じく四千八百五十三叺にして一萬二千四百九圓五十五錢同五年は同期に一萬二千四百三十九叺にして四萬四千七百四十八圓八十五錢本年は價格の騰貴と品の激增に依り九萬五千五百七十九圓二錢の收入を得たりと（大邱）

◎何して神經衰弱に罹るか
神經衰弱病は文明の副産物

世が進むに連れて生存競爭が激しくなり、腦力を使ふ程度よりも、より多く頭腦を使ふ場合が多くなつて來る、假令野蠻人の飯鬪と文明人の戰爭に取て見てもそれは容易く判る道理である神經衰弱病はこれに原因した明かに文明の副産物と云へやう、所で是は强ち誰でも罹るものでは無く、多少

◇遺傳的の 性質を帶びて居る、譬へば大酒家の父、腦病の母等の血を享けた先天的に怯弱な體質の人が過度に頭を使つたりすると冒されるのである、但しそれとても子供の時は無く、男子ならば中學程度から起る、そして原因は多く過度の試驗勉强、不攝生で、婦人ならば二十前後からの病身な人で人妻となつてから家政を氣遣ひまた

◇夫や子供 の上を心勞するに起因し昂じては俗に云ふヒステリー症になる、外國の書物を讀んで見ると職業としては相場師や役者、音劇役者等をも數へてあるが、直に採つて我國に移すことは出來ないけれども、要するに絕わず周圍に對して神經を働かせてゐなければならぬ職業の人は罹り易い譯である、子供と同じく年寄にはその心配は槪して無い樣だ、時期は心を浮立たせる

◇春に多い 精神の激動や不攝生をしたりするのが原因なので、肉體を過度に働かせる丈けでは餘り影響しないものである神經衰弱の徵候は實に種々あるが、主なるものを擧げると、第一に精神の疲勞で、延いて眩暈がしたり、眼先がチラツイたり、頭痛、耳鳴それから不眠症になつたり、鬱憂したことにも容易に動悸激しく、

◇恐怖れを 感じたりする眠が充血し皮膚に筋を引けば何日までもその儘に水腫れになつてゐる、斯く非常に神經過敏になるから衰弱では無く寧ろ昂進と誰でも思ふのであるが、斯る不時の精神作用を制止し得ず且つ記憶力の減退する所から見て明かに衰弱してゐるのである、この狀態が進んで來ると、事々に激しい

◇脅迫觀念 に襲はれる樣になる、こんな重症だと直ぐ神經衰弱と云ふことは分るが、輕症であれば健康體との區別が全く判らぬ、が然し、實際は怜悧な人はある程度まで所謂『神經衰弱の患者』でなければならぬ筈である昔の東洋風の豪傑の豪放磊落な性質では

◇到底現代 に處してゆくとは不可能だ、これは時代が左樣させたので前述の諸徵候中の一つでも顯著であれば別のこと、然らざれば直ちにその人を指して神經衰弱病者と云ふは苛酷であり、またその人の一生を過らせる暗示ともなる、我々は實際ある程度まで神經衰弱であらねばならない、これは少し

◇極端な論 かも知れぬが私は實際そう思ふ、今日の樣な複雜な世に生活を營んでゆく以上、神經過敏とならざるを得ない、繁み神經過敏であることが、時代に副つて、若くは時代を導いて生きてゆく基礎ともなる、文明の最も進んだ

◇佛蘭西や 獨逸に神經衰弱病者の一番多い事實に見てもそれは分らう、國民性から云つても保守的な沈着な英人に比較的尠く多血質な佛人に似た我邦人は寧ろ時代に强要せられずとも神經衰弱病者でなければならぬのが自然の成行きのやうにも考へられる尤もそれとても

◇程度問題 であつて、或る程度を超ゆれば危險な狀態に置かれることを豫め警戒しなくてはならない、佛蘭西の近い過去は現にそれを示してゐた、私は決して無暗に神經衰弱病を讃美するものでは無い、倂でこれは餘程病氣がひどいと自ら意識した時には無論治療を怠つてはならぬ

◇其治療法 であるが、外科的のそれと違つて直に利目がある譯には行かぬ、長い期間を要し滋養分を攝取する一方適宜の運動を忘れてはならぬ位の、結局平凡な攝養法しかないやうである、尤も『神經衰弱』病と云ふから餘り物に屈託せず、腦を休める樣に、自分の趣味を樂しむのも一良法に違ひ無い（某醫師談）

◎京城の入營者

本年の京城に於ける壯丁の入營者は約二百人からあるが、それが各自の都合で任意に入營するのであるから府當局に於ても一寸調べが付き兼るが左記に續載する人々は府廳から入營に對して旅裝を支給したもので來る十二月一日內地の所屬各部隊へ入營する者であるが今日迄の所では黃金町と旭町と本町が一番多い樣である

◇步兵科

（住所）	（氏名）	（原籍）
東部練兵場草株式會社內	島谷喜郎	[illegible]
旭町二ノ六原田方	原田忠吉	德島
旭町二ノ三一中原方	染山善藏	同上
南大門通五ノ八	見木愛吉	山口
明治町二ノ五〇八谷方	吉谷宇八	同上
勸農洞一七一	白木孫一	同上
中學洞一四貫島方	中條勝美	鹿兒島
本町三ノ二一齋藤方	酒井源三	廣島
櫻井町二ノ九二	河村明	山口
本町一ノ四九宮本方	込山欽吉	神奈川
本町二ノ五八	村岡國助	佐賀
蓬萊町二ノ八木方	宮本貫喜	熊本
大和町一ノ二四	村田喜一	山口
本町二ノ一〇六	山野藤次郎	[illegible]
苑洞七六	迫田圭介	鹿兒島
黃金町一の七	森賀福造	和歌山
同町二の七〇	原口祥一	長崎
龍山元町二の三二	福田調一	佐賀
櫻井町一鈴木方	竹下兵良	鹿兒島
旭町一の二〇二	合田貫作	大分
同町一の二一三村方	篠原啓二	兵庫
堅志洞二六五	舟津盛太郎	石川
黃金町一の五九	大倉善三	島根
同町二の一一二	西谷實	大分
南山町二の一一五	手島要造	廣島
黃金町二の一一六九	水澤源吉	新潟
明治町兩田新聞店	宮田政吉	熊本
初音町二〇七	雨宮左右平	山梨
花開町一〇五	臼井弘	熊本
冷洞一八三	野並猪熊	北海道
本町二の二五	北島承雄	佐賀
倭城臺總督府構內	渡邊寬治	新潟
本町四の二五	眞川佐市郎	岡山
本町四の五一	津村駒吉	栃木
林町一六〇	土岐孝清	愛媛

◇騎兵科

（住所）	（氏名）	（原籍）
本町三ノ二近藤方	三谷哲介	廣島

◇工兵科

（住所）	（氏名）	（原籍）
古市町四三	高橋恭次郎	茨城
長谷川町四二	足立才次郎	新潟
長橋町六五	山田利光	鹿兒島

◇輜重兵科

（住所）	（氏名）	（原籍）
黃金町三大眼方	赤谷內又吉	石川
同町四ノ三二四	森谷勝男	長崎

◇重砲兵科

（住所）	（氏名）	（原籍）
大和町三ノ三二注方	伊東喜太郎	大分
花南洞二九	顯野久米吉	同上
本町二ノ五九	平野勘	佐賀
竹添町二ノ一二五	村田三郎	長崎
旭町二ノ一〇	鹽崎森藏	山口
鐵道構內第二合宿	木谷勇	廣島
初音町四四	今井正次郎	東京

◎水運調査會 平壤有志間に

計畫せる水運調査會は十二日午後七時より商業會議所樓上に於て委員會を開催し重要の問題に就き協議する筈なり因に同會委員長は大橋恒藏氏を選定囑託せり

演藝案内

有樂館 早川演藝部直營 常設館 ◎潜航艇の秘密 全十五卷三十卷 五日間

大正館 電話八七三

黃金館 電話二三六七 二二六六

壽座 早川演藝部出張撮影 大閤秀吉と石川五右衞門 破天荒の連鎖劇

男の生殖器病
生殖器短小、包莖、陰萎、早漏、遺精、夢精、勃起不全、淋疾、不快、快感減少、腦神經衰弱、手淫及過房等による諸症の人は自宅で簡單秘密に驚くべき效を奏す
東京神田 眞空療法研究所

寫眞 京城日報社寫眞製版部 寫眞銅版、亞鉛版 寫眞出張撮影

釜山商店案內
長岡商店 釜山辨天町長手通

洋酒 罐詰 卸商 釜山長手通 あづまや商店

卸問屋 洋菓子洋酒 食料品 滿鮮代理店 東京三河屋 釜山幸町 ミトヤ商店

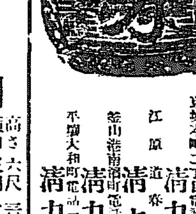
內外雜貨 冬物全部荷揃 近藤商店 釜山本町三丁目 電話長七六八番

雜貨卸問屋

米穀調製器 收穫用器具 販賣 釜山本町 朝鮮勸農商會 竹製消火器 南鮮發賣元 地方特約店募集

新滋養劑レグモン
肺結核、慢性胃腸病、熱性病、腎臟病、糖尿病、其他中病病後の衰弱一般乳汁不足に最も有力なる滋養劑!!
【容器】百瓦入 金壹圓貳拾錢 二百瓦入 金貳圓貳拾錢 四百五拾瓦入 金四圓五拾錢
大阪市東區道修町 一手販賣元 武田長兵衞

カスミ網 小鳥捕用 （極上絹糸製）○其他雁鴨兎網無双網等種々あり
高さ六尺 三間 三尺二棚 京城永樂町二丁目 吉備商會



釀造元 合名會社清力商店
清力京城支店
清力出張店
清力釜山支店
清力平壤支店

絕海孤島の大活劇 潜航艇の秘密 十五編三十卷
後編上場より連日連夜滿員御禮
後編十卷 十四日限り日延なし 終編十卷 十五日より五日間上場
早川演藝部直營 電話二〇五番五九七番 有樂館

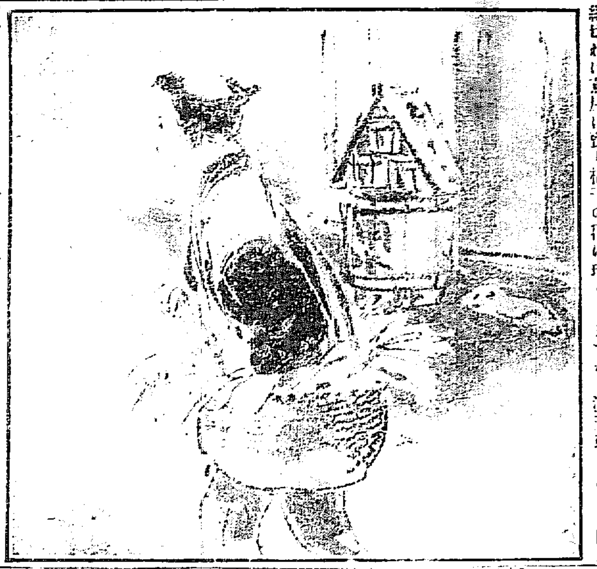
大阪府京都帝國各大學病院指定品
純良 赤門葡萄酒
滋養補血には赤門葡萄酒に限る
大阪道修町 小西商店洋酒部
到る所の信用ある藥店洋酒食料品店にあり

左甚五郎

第八十四席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

源五郎の女房おかつは四谷鮫ヶ橋町に世帯を持つて賃仕事なぞをして其の日を送つて居ります。倅の源吉は何を云ふにも未だ十二歳の少年で何にも出來ませんが、普通りの子供と違つて悧巧ではあるし殊に孝行者『阿母さんも女の痩腕で生活をつけるのは骨が折れるだらう』責て僅な足しにもと思つて毎朝暗い内に起て近所を一と廻り廻り、何でも露店に落ちて居る物を拾つて參り、紙屑經切れ絲干の種、そんな物を拾つて來て何になるか皆錢になる。紙屑は屑屋に賣り、經切れは蔦屋に賣り絲干の種は殘數居に賣ります、然て見ると拾ひ屑は無いものでございます、それればかりでは無い、朝は納豆を買ひ出して來て賣りに出る、晩は佃煮を受けて賣歩くといふ樣な譯で、近所の母親も甚く喜んで居りまする。所では皆源吉を賞めて ○『何うです隣の源坊は感心ぢやアございませんか、十二や十三は遊びたい盛りそれを納豆を賣つたり蜆を賣つたりして稼いで居るが、實に感心な子でござんす』△『本統に感心なことで』と組長家の者も此の母子には目を懸けて種々な物を惠んでくれる。月日の經つは早きもの源吉が十三才になつて源五郎の一周忌も濟せました、今日は源吉も遊んで家に居りましたが、長家へ入つて來て源吉の家を探ね御免なさいと音信る者がありますから、母親おかつは其處へ出て見ると年齡は三十一二にして立派な人物、一人の若い者を伴れて立つて居ります かつ『入らつしやいまし、何誰で』男『兩國の源五郎さんのお宅は此方でございますか』かつ『ハイ、手前共でございますが貴下は何誰樣で』男『私は淺草諏訪町の甚五郎と申す者でございますが少々お話し申したいことがあつて伺ひましたので』かつ『オヤまア諏訪町の棟梁でございましたか何ぞまアお上り下さいましこんな汚い處へお出下すつて恐入ります』甚『まア阿母さん御免なさい』と甚五郎は上へ上つて『阿母さんには初めてお目にかゝりますが、源五郎さんとは兩三度お目にかゝつたこともありますが、夫が存生中能くお噂を伺つたこともございます かつ『然うでございますか、甚『其お世話になりましてね、源五郎さんもお亡くなんなすつたといふことで かつ『昨年の七月亡くなりました 甚『私は暫く水戸の瓜連といふ處へ仕事のことで一年ばかり行つて居りましたが歸つてお亡くなんなすつたことを聞いて驚きました、それから直に伺つた處此方へお引移りなすつたとのこと、何うもとんだことで嘸ぞお力落しでございませう かつ『有難うございます』甚『就ては源五郎さんもあゝいふことで亡くなられたのだから此の源吉さんが立派な者になつて阿父さんの跡を襲せなくちやアなりますまい かつ『彼仰る通り何うか然ういふことにしたいとは思つて居りますが、誰を力と頼むもありません、思案にくれて居ります 甚『それでは此の源吉さんを俺にお預けなさらんか、及ばずながら甚五郎が立派な者に仕立て阿父さんの跡を襲せる樣にしませうから、俺にお預けなさい かつ『然うして頂けば母子の者が助かります、責めて此の源吉を一人前の職人として二代目源五郎としたなら嘸ぞ冥途に於て夫も喜びませう又[illegible]の勸めも果すといふものでございます、源吉や御前も此處へ來て棟梁にお願ひなさい 甚『然う極つたら直に俺と一緒に來るが宜い』と前申上げる通り義俠に富んだ甚五郎、源吉を伴れて我が家へ立歸りました(未完)



質 京城太平通二丁目 本多質店 懇切丁寧な御取扱

暦 十一月十六日 九星 舊十月二日 己亥 二黒 坤 閉 大安
本命二黒坤 △三碧 義理攻になる事有日新事見合せ方は [illegible] 女難口舌用心の日新事手 △四綠 [illegible] 防がるへし △五黄 [illegible] △六白 [illegible] △七赤 悦樂の日轉居旅行入門名弘求 △八白 [illegible] △九紫 大効を顯す日男子は [illegible] 一白 [illegible] 事は若女子は行儀を守るべし

▲美味なる 虫下し 最良藥
定價 五錢 十錢 廿錢 五十錢
岩崎大海堂セメンノ菓子
美味なる 虫下し最良藥 さんとにねくわー
登錄商標 珊瑚篤尼湿菓子
大阪天王寺鳥居前角 本舗 岩崎大海堂
▲内外藥店にあり
蛔虫諸症。疳の蟲蟲熱。夜なきの蟲。乳あましの蟲。腹いたみ。疝熱の蟲。胸あしく。勞熱の蟲。蟲せき。驚風の蟲
主治効能
近來粗惡なるにせ物續出す鳥居の商標と岩崎大海堂に御注意を乞ふ
▲廿錢のは卅二錢分入りで極入で徳用よく常用と進物に妙です

冬の逆上と頭痛と便秘

▲腦神經患者に利益ある記事

▲冷逆上と腦神經 冷逆上といふ體質は冬の大寒に逆上る人がある。中には夏でも無暗に頭をかつかと逆上せるから頭痛もする。逆上せる事が多い。其原因は氣分の惡い日を送る事が多い日には氣が陰くなる。考へてみると大概は自から便秘か、逆上、頭痛の外に腦神經の病があつて來るのが殊に多い容態の一つである。だから便秘を快くする事は腦神經の療法中最も重要な事の一つである。

▲其療法と腦神經 治し方は常に便通を快くする。併し單に此種の藥を快くすると云ふ上に同時に腦神經に直接の効を及すといふ風な藥があれば其は實に根本的に効果のある良藥と見ねばならない。健腦丸は即ち此種の最有効藥として知られた藥である。腦神經衰弱の病者で健腦丸に依つて好結果を收め見違へる樣に快活な元氣な人になつた例は幾らもある。又健腦丸の逆上を引下げ便通を快くする効に依つて便秘、逆上、頭痛等の苦惱を救はれた人も無數である。されば健腦丸は腦神經衰弱藥として又腦神經の病に伴ふ諸々の故障に對する最有効藥として厚く信用を以て廣く世に用ひられてゐるのである。

▲何故に有効か 何故に斯くも完全な腦神經藥なのであるか。其配合藥は限りが無いが、此藥は世に信用のある丹平商會の設備完全の製藥所に於て專門藥學者が學理と實驗に照し最高知識を應用して苦心研究した完全な腦神經藥で其原料の化學的檢査を始め其製造上の手續の一々に嚴密な監督を怠らない。それからである。然ればこそ名醫も此を證明せられ博士も健腦丸の有効を證明せられたので、また其の名聲の此種の藥中最も高い所以である。

▲十一月頃から 加減で人の心が兎角悲觀的になり易い。斯うした陽氣の際病者は勿論頭腦を使ふ人達は逆上、頭痛、便秘、不眠及は物事に倦み易く根氣が弱り誰らぬ事が多い。心配になり記憶力減じ物忘れが多いといふ人達は健腦丸を用ふれば目に見えて効がある。又酒好の人々には健腦丸を少量持藥とせば卒中や中風を未發に防ぎ平素腦の弱い人は本劑を常用すれば記憶力を増し頭腦を明快にし腦充血を治す効がある。藥價は二十錢から五圓迄種々あつて本舖は大阪心齋橋筋、東京濱町の丹平商會。全國到る處の各藥店に取次してゐる。

たんせき ぜんそく スッカリとれる

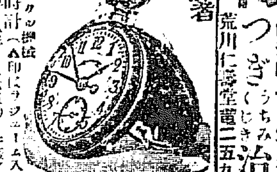
痰咳にて苦しく喉嚨がゼイ/\する、喘息でゼイ/\息切がするなぞの呼吸器病は、恐ろしい肺病の原因ともなるから早く治さなくては危險である、日本にタツタ一つの奇効良劑ミミ効丸の靈妙作用を知らずして[illegible]に迷ふは[illegible]の催効を試して救はれ[illegible]特長は急性と慢性の[illegible]た本劑は甜藥としてもノドの痛みに驚くべき直接の作用をする。

是非とも服まねばならぬ人
●たんせき喘息の持病ある人 ●咽喉氣管支[illegible]

賣捌(十二號)本舗 守田治兵衛 東京下谷池之端仲町廿七 電話下谷 五三九 振替口座 東京二九八五番

明治町ふらんす商會 胃つぎ(うちみくじき)治療 荒川仁壽堂 電二五九五番

新著荷 スイス製 懷中時計



懐中時計(▲印はラヂューム入)アンクル鍍金 十八形 [illegible]

價格低廉なるに堅牢實用的に精巧なる時計は天下無比

本店 京城本町二丁目 電話九七二番 イングレッツレー商會 時計、蓄音器、ミシン機、洋酒各國貴直輸入商、自轉車

天下一品 白鶴

增本酒店 仁川本町三丁目 電話一〇九番

ミツワ石鹼

MITSUWA SOAP.

The pure soap, from chemical point of view, should dissolve transparently in Alcohol with no sediment at all. Not only MITSUWA SOAP fulfills that requirement but it possesses a delicate and refreshing smell. It is absolutely free from all traces of impurities and contains no "free" Alkali. It makes a soft, creamy lather, which cleans the skin thoroughly, and wears to a last wafer. MITSUWA SOAP gives comfort and satisfaction every moment of its use for toilet, bath, or nursery.

純正の石鹼は亞爾箇保兒に透明に溶解し、遊離脂肪なきが故に混濁する事なく、混合物なきが故に些の洗渣をも殘留せず、更に『フェノールフタレイン』を以て、仔細に遊離の亞爾加里を驗するも、毫末の反應を呈する事なき、是を化學上の純石鹼なりとす。皮脂の分秘量多くして而かも粗惜なる本邦人の皮膚、及び漆黒を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は、啻に化學上の純石鹼たるの故のみを以て、其適否を論ず可らず

◎ミツワ石鹼は化學上の純石鹼たるのみならず、なほ左の性狀を具備す。

一、原料を精選し、脂肪に、香料に、苟も刺戟を感ずべき虞れあるものを用ひず。

二、温雅の芳香を有す。

三、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて、能く水にも溶解し而かも浴室に用ひて半途に溶け崩るゝが如き憂なし

故に、一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に叶ひ、經濟に合する、理想的實用品なり。

種類		
大形	家庭用	定價金貳拾錢
中形	携帶用	定價金拾錢
小形	旅行用	定價金拾錢
極小形	旅館用	定價金五錢

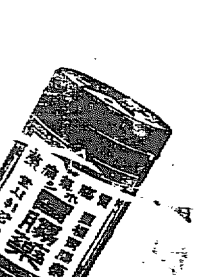
(現品實寫圖)

ミツワ家庭藥 肝油ドロツプス

東京市日本橋區橋町四丁目 振替東京一〇七番 丸見屋商店 電話特長浪花 四四八番 四四九番 四〇三番 四五〇番

胃腸良藥 ホシ胃腸藥

一匙のホシ胃腸藥は直に的確な効能を現はす!



主効
▽消化不良 ▽溜飲 ▽吐瀉
▽悪醉 ▽食もたれ ▽飲過
▽食過 ▽宿醉 ▽胃腸カタル
▽悪心 ▽腸疾等の

時

定價 廿錢 五十錢 一圓

東京市京橋區南傳馬町 星製藥株式會社 電話京橋 一七八五番 振替 二〇五一二番

京城日報
十五日朝刊（朝夕刊併せて八頁）

△十四日大阪米期 …… 十圓三十錢 …… 一錢十九
△大阪堂島 …… はらざる入電にて …… 圓九十九錢二十圓平均値段二十圓
中十九圓九十五錢先五十錢と寄付 …… 四節二十圓
るもヂリ〳〵と七錢と伸び三節に …… △先限一万十九圓五十錢一錢二錢

後場　寄付　止メ　高値　安値　出來高
十四日の一月限　十九圓五十　十九圓六十一　十九圓五十二

支那漫遊
蘇峰生

段芝貴と梁啓超

段芝貴氏は、本家段祺瑞氏と、袁に取りては、左右の手たりし也。然も一の段は總理たり、他の段は北京衛戍の閑職にあり。されど芝貴其人も、春秋に富み、前途多し。北洋武斷派中に於ては、屈指の一人ならむ。

彼の家は鐵獅子胡同にあり。其の園池、頗る瀟洒なり。之を主人に尋ぬれば、是れ呉三桂の寵姬、陳圓々の舊宅にして、今は其の三分の一に縮められたりと云ふ。彼は愛想善き、利け物也。梁啓超氏には、財政部にて面會せり。彼は支那に於ける、唯一の新聞記者ならむ。今や大藏大臣の劇職にあり、予等の先客は、英國公使たりき。彼は頻りに予の『杜甫と彌耳敦』を賞讃し、足下の文、一として通覧せざるなしと云へり。彼は何ぞ新聞を想はなき乎と問ふ。予は別にさるをなし、但だ貴國には米屋、薪屋、酒屋、餅屋と同樣に、錢屋ありて、錢を貨物同樣、一種の商品として取扱ふ。此丈が新來の旅客には、閉口也と答ふ。予は彼と舊相識なれば、種々の談話を交換したり。

琉璃廠と隆福寺

予は北京に入りて、先づ琉璃廠を見舞へり。更らに昨十八日を以て隆福寺街を見舞へり。兩者書肆の淵藪なれば也。而して獲る所ありしやと問ふ人あらば、頭を掻きながら無しと答へんのみ。支那は實に大國也。一方には革命騒ぎの最中に、他方には古董、書畫を玩び、此が爲めに千金を投ずるを辭せざるものあり。而して書肆、骨董舖や、隨時藏家の零落を機に、市に出づるあるも、殆んど右より左に顧客あるが如し。予は半日の閑を消したるも、宋元の舊槧は勿論、明板の精善なるものさへ、容易に見出さず。偶ま一寸欲しきものと見れば、法外の掛値にて、擊退せらる。此の方面にては、何れの古書肆も、製本業を兼ね、其の店裏には、殆んど觸手にす可らざる書籍を、修理しつゝあり。製本にかけては、日本は到底支那の敵にあらず。然も餘りに手際の善きが爲めに、其の本來の古色を損するは、所謂る過ぎたるは猶ほ及ばざるが如きの類歟。但だ聊か同人に誇る可き一は『殊域周咨録』十冊也。此れは珍書にあらず、されど明の萬曆癸未の出版にて、記する所は朝鮮、日本、琉球、安南、及び南洋諸島に及ぶ。博覧の君子に取りては、逆來の家にる可きも、我が成簣堂には、從來缺備せざりし也。

大正六年十月十九日朝　北京に於て

鋼禁問題解決
解禁事情如何

華盛頓電報は報ずらく、日本は米國より商船及び軍艦の建造計畫を遂行するに充分なる鋼鐵板の供給を受くべく、而して其交換條件として、日本は從來より以上の船腹を聯合國の海運に提供し、且つ獨逸の潜艇戰に對する日米の共同作戰範圍を擴大すべしと。米國が曩に我民間の造船業の所要鋼板を十分に供給するに止まらず、我海軍の軍艦建造用材をも併せて供給すべき協定成れりとせば、我産鐵の大多量は以て

△民間の需用　に充るを得、我國に於て製造し能はざる機械類の輸入難は、從來と渝る處なしとするも、鐵材の缺乏は、大に緩和さるゝに至るべく、此協定の爲めに愁眉を開くは、單り我造船業者のみにあらざるべし、而かも本協定の餘りに多量なる厘觀を齎らせると、曩に米政府が、鋼鐵十五噸の對日輸出を許可すべしとの報道傳はれる等の事ありしより、今回の協定を以て一時的若くは定量の供給を意味するにあらずやとも思はれざるにあらず、或は然る内容の協定なるやも知れず、電文簡にして其眞相を悉す能はざれども、最近

△米國の造船　及び海運企業は急激なる減退を來し、政府の獎勵に依る造船業の擴張は、其の著々遂行されつゝあるにも拘はらず、一般造船業及び海運界の前途に對しては、漸く不安の念を昂めつゝあり、抑も米國の造船獎勵は獨逸潜艇の威嚇に對抗せんとするものにして、歐亂勃發以來殊に本二月以降八月に至る七箇月間に於ける米國造船資本の増加は實に驚くべきものありしが、去九月に入りて造船及び海運事業新設資本の額は頓に減退し、本年二月以來の最低記録を示して、八月の千七百三萬八千弗、七月の千九百二萬弗に比し、實に其三分の一以内に低下せり、蓋し

△之が主因は　米國政府の管船政策に外ならず、即ち重量噸二千五百噸以上の船舶にして、遠洋航海に堪ふるものは、十月十五日以後、米國政府管理の下に置かるゝこと、成りたるより、遂に當業者を悲觀せしめ、事業の亂挫を來たせるもの、如し、然れば米國政府が管船政策を拋棄せざる限り、今日の趨勢を挽回するは、決して容易の業にあらずして、一方米政府は其必要に迫まられて、施行したる管船令を、一朝にして撤廢すべくも思はれず、結局

△或條件の下　に、鐵材を我造船業者に供給して、必要の船舶を洋上に浮ぶるの策を執るものとせば、縦し今回の協定が、一時的若くは數量を限定されたりとするも、此種の協定は、漸次接近へ向はしむるものと見るを得べきに似たり、只吾人は日本の爲め製鐵事業の發達を欲ふの情に禁へず

暮近し　古賀葩雄筆

鞍山站鐵鑛

滿鐵が巨額の費用を投じて計畫を樹てゝ設計した滿洲製鐵所の鞍山站鐵鑛の孤山鑛區に目下試掘中であるが過般地下四五尺の所から錆び返つた鐵の鏃が三箇現はれた而して續いて城塞の跡らしい石垣を發見した其の使用してある煉瓦を研究して見ると何しても高句麗族の作つた物で從つて彼等が此處に城塞を構へて居た事が明瞭となる而して鑛石に澤山な鐵滓が含まれて居る處から見ると確か一度は採鑛された事も明瞭になるが之れは高句麗族が城塞を構へて居た當時採鑛して鐵を作り其れを以て各種の武器を作つたものとして面白いのは此の鐵滓を分析して見ると未だ三十プロセント位の鐵が殘つて居る此附近の鐵鑛には四十三プロセントの鐵を含んで居るから高句麗族は僅に十パーセント内外しか採り得なかつたものだろう學者の説によると高句麗族が勢力のあつた時代には遼東人蔘を採集する目的で此附近に來て自衛上囲壁を設け又此附近の礦石から鐵を作つて武器を作つたものらしく掘り出した鏃は確に朝鮮人の昔使用したものと同型である高句麗族が此所で一千年以前に武器を作つたと云へば珍らしい樣にも思はれるが我日本では二千五百年以前既に立派な寶劍があつたのに比べると格別驚く事もない譯だ高句麗族が一度滿洲を去つてからは滿洲人は是を此處に鐵鑛のある事に氣付かず露人等も戰役當時は鞍山站附近には角塹壕など作り陣地をしてゐたが…ある事を知らなかつたが朝鮮を併合した日本人に依つて再び此の世に出るのは面白い廻り合せだ高句麗時には製鐵も頗る幼稚であつて石炭などは知らなかつたから木炭でやつたのだろう古老の言に據ると大孤山城塞の中には井戸があつたと云ひ又其他種々研究の結果によると此附近は一大森林地帶であつた事は疑を容れない兎に角高句麗族のやつた仕事を千年後に日本人のやるのは面白いではないか

誰 (124)
布施生譯

言つてる處へ這入つてきたのは黑い蝶形の襟飾を折襟のシャツの上に横絞りに引結んで藍寶石のピンを留め黑上衣な[illegible]途で縁上げて手描で黑光りのする帽子を阿彌陀に冠り其上無細工な長靴を穿いて太い籐の杖を持つた見るからに甲斐々しい扮装の男であつた。鈴富はひよいと其男の顔を見ると驚いた、どうだらうそれはつい先達て自分を取捕へた阪探偵ぢや無いか、鈴富が呆氣に取られてゐるのも構はず老人は機嫌よく『藏部、今度は極端に警察風を吹かせてきたな。君の其風を見たら正直な人間でも震上るぞ、今度こそほんとによく機轉がきいた。』阪は褒められてたわいも無く喜んだ、そして愈『畏まつて、さあ、之から如何致しましやう』『いや君の其手並ではむづかしい事ぢやあ無いよ、街角へ降て藏部には、あ賴太郎を踏捕へるまでは藏部の方を尾行されてるなど氣附かせるんだは御免だからな、よく藏部の目に入るやうにするんだぜ』『畏りました』『何でも早く藏部が逃出すやうに仕向けるんだ、彼奴だつて警官につけられるのは厭だからな君がつけてると知つたら彼奴まさかホテルへは歸るまい、歸らしちやたらないんだよ。』『もし歸つたら如何致しましやう。』老人は一寸眉を顰めながら『いや歸る事はなるまいよ、しかし萬一歸つたら君は藏部が又出懸けるまで待つてるんだ、若し出たら奴監視度汽車に乘つて何處へか往くだらうから、そしたら君は何處迄も北極迄でも可いから尾行するんだ、金はあるかい』『ぢやから持て參りましやう』『よし、おゝそう〳〵もう一つ、此藏部だらうとも汽車に乘つたら一寸此處へ知らしてくれ、もしか晩迄に歸圖〳〵してゐたら氣をつけるんだぞ、彼奴何をするか知れないから』『力づくで遣付けても可いでしやうか』『先方から手出しをしなけりや可成そりや控へた方がいゝな』『よしさあ往け』藏屋の阪が往つて仕舞ふと鈴富は性急しなく老人に向ひ『何故藏部を捕縛させないんです、藏部の犯罪は私に整つたあの罪よりずつと大きいぢや有りませんか』『なに私は賴太郎を遣繫にしないやうに骨折つてゐるのぢや、いやそれは兎に角やあ遣つた〳〵』老人が窓から戸外を指してはしやぐので鈴富もひよいと覗くと、成程今迄其處に頑張つてゐた藏部は何だか尻が燥い樣子で折角の物見遊を棄てゝ二三足歩き出した、かと思ふと足早に街を下手に逃出した。

『藏部め、とう〳〵釣針を呑んだわい』と壽醜老人が手を拍つて喜ぶ所へ又もや人の訪ふ氣勢がして今度は美那子が這入つて來た、美那子ではあるが樣子が平常とは見かはす許りに違つてゐる、眼は涙に濕んで光を失ひ笑顔は消わ頰は青褪めて肉も落ちた、何さまひどい悲に壓潰されたものと思はれる美那子は鈴富と顏見合せてゐるきるで初對面の人にでも會つたやうに、ほんの輕く會釋した丈で一圖に老人を見成つた、老人は優しく『どうしたね、何か有るかい』『大變なんでございますよ、もつと早くお知らせ致したいと存じましたが暇が無いのでございます、只今やつと殿樣が巧く手管をして下さいましたから』『ふん、殿樣によく私からもお禮を申上げて呉れるがいゝぞ、殿樣は何だらうな、相談した通りにして被在るだらう』『いゝえ、て被在いますとも』『藏部さんにも會つて被在るかね』

雜誌抄

○記憶力増進法（保健）　記憶を良くするには、滋養に富んだ食物を十分に食べて、頭腦を成る可く多く使ふこと、及び何事によらず記憶せんとする事は之を反覆して剩就の幾度も幾返すこと、又た記憶すべき事に接した時は極力其一事に腦力を傾注して神經の集中を計ると共に反射的動作の漸出を防ぐ事が肝要である（土田醫學博士）

發行所　京城太平通一丁目　京城日報社
印刷人　小川三之介

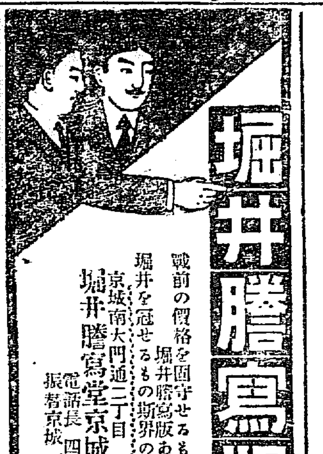
商業登記公告

支店設置　…合資會社、本店釜山府本町二丁目九番地、支店京城府南大門通三丁目九拾五番地、木浦府大和町貳丁目參拾八番地ノ壹、平壤府…
[illegible]
大正六年拾壹月拾參日登記

京城地方法院

文部省檢定試驗委員並ニ立女子職業學校教師執筆
和洋裁縫講習録
新學期開始
東京神田小川町　日本裁縫教育會

十一月五日以來熱狂を以て迎へられたる問題の秘密は愈々解決せらる
▲終編　潜航艇の秘密
本日より封切　有樂館



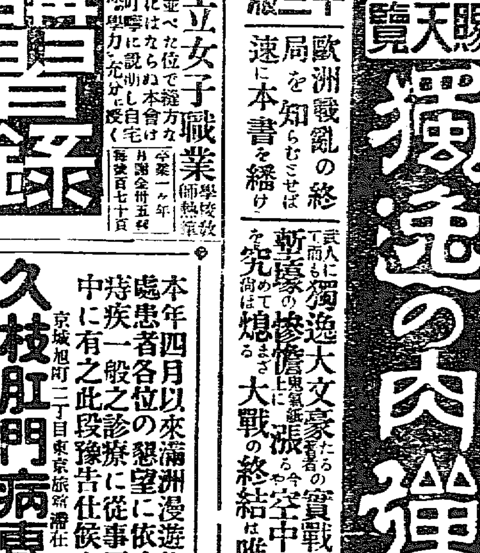
堀井謄寫版
戰前の價格を固守せるもの獨り堀井謄寫版あるのみ
堀井を冠せるもの斯界の白眉なり
京城南大門通二丁目
堀井謄寫堂京城出張所
電話長四〇二番　振替京城一〇五八番

◎訂正廣告
本紙拾月參拾壹日岩波書店（漱石全集）廣告中、撰擇豫約の求めに應ずとあるは應ぜずの誤植に付茲に訂正す

測量員速成講義録
東京神田小川町通信工手學校測量科

高級ベント金庫
商品案內書は御報次第送呈

優良なる金庫を備へんとならば先づ
東京　大倉製金庫を擇べ
創業明治五年
東京市日本橋區本町四丁目　大倉金庫本店　電話特團八三二番　振替東京六三四一番



最新智識　機能完備

特約店　京城本町一丁目　横山金庫部　電話一六七番　振替京城二二三〇番

本年四月以來滿洲漫遊後引續き東上中之處患者各位の懇望に依り再び京城に於て痔疾一般之診療に從事可致目下開院準備中に有之此段豫告仕候也
京城旭町二丁目東京旅館滯在
久枝肛門病專門醫院長
藥劑師、看護婦、見習看護婦至急募集希望者來談ありたし

賜天覽
十三版
參謀總長男爵上原大將閣下讀
帝國在鄉軍人會長男爵福島大將閣下讀
獨逸の肉彈
獨逸ヘッケル大尉著　日本芹澤登一先生譯
歐洲戰亂の終局を知らむとせば速に本書を繙け
武人に而も獨逸大文豪たる著者の實戰手記て鐵火の壯烈斬壕の慘憺鬼氣紙上に漲る今や空中戰科學戰水底戰を究めて尚は熄まざる大戰の終結は唯肉彈の一途あるのみ
正價一圓
戰事文學會　東京

最新刊
常平庵主人著
歷史的紀念品　朝鮮之古錢
本書は朝鮮の古錢に關する唯一の發行物にして全部實物古錢を添付す
好古家諸氏に便する爲特に朝鮮、支那、日本の年代及び記事を秩序的に記す
歷史の參考品高麗朝の遺物として朝鮮を代表する絶好記念品なり
實物古錢添付
京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番
發賣元　京城日報社代理部
發行所　京城ウツボヤ書籍店

意匠圖案
美術刺繡
石版描畫
京城永樂町二丁目七六
パピラス圖案社

露國の政變

▲反革命軍の全敗 ケ氏及びコ將軍の率うる

＝ツアールスコエ、セロの激戰

無線電信に依りて傳へられたる露國公報に依れば十二日ツアールスコエ、セロ附近に激戰あり革命軍はケレンスキー氏とコルニロフ將軍の率うる反革命軍を全敗せしめケレンスキー派は目下退却中なり（倫敦電報）

▲聯合社會黨決議

露都來電＝聯合社會黨は中央派を除く社會黨内閣を組織す可き事を決議せり（ストックホルム電報）

▲レニン政府を認めず

駐米露國大使バクメチエフ氏は過激派の主權を否認せり（華盛頓電報）

▲過激派本部解散

ツアールスコエ、セロの過激派本部は十二日解散す（倫敦電報）

▲結局ケ氏の天下か 當面の時局收拾策如何

最近露國政局の轉變は端倪するに遑あらずと雖もケレンスキー氏の露都恢復は疑ふの餘地無きもの〻如し當面の時局に對してケレンスキー、ミルコフ、グチコフ氏等は如何なる方策を以て大勢を運用す可きかは注目に値す可く殊にミルコフ、グチコフ氏等の意圖は莫斯科に中產階級を基礎としたる政府を樹立するにありし如きもケレンスキー氏が既に露都に入り政權を確立せる以上別個の運動を起さんか政權ペトログラード、莫斯科兩地に兩分され勢ひ内亂狀態を誘致する結果に陷る可きを以て中產階級もさる亂暴なる手段を避けケレンスキー派と妥協してケレンスキー氏を表面に立たせ時局の收拾に任ずる事となるべし＝東京國際通訊＝（東京特電）

◎藤井師團長視察

藤井滿洲駐屯師團長は戰跡視察の爲め十四日午後三時本溪湖に來著せり（安東縣特電）

◎柚原少將一行

陸軍少將柚原完藏氏一行十八名は九連城戰跡見學の爲め十五日午後五時半來安十六日見學の上十七日朝鐵嶺に向け歸隊の筈（安東縣特電）

◎入江氏京城行

入江滿鐵監理官は十四日朝來安滿鐵及び鮮鐵事務視察の上豫定を變更し午後六時新義州に向ひたるが鐵道ホテルに一泊の上十五日朝發京城へ向ふ可し（安東縣特電）

◎樋口代議士南下

代議士樋口秀雄氏は十四日午後六時半安東通過南行せり（安東縣特電）

◎褒賞授與式 木浦の品評會

木浦府務安郡聯合生產品々評會褒賞授與式は豫定の如く宮木道長官臨場の上十四日午前十一時より木浦小學校庭に於て舉行さる來賓出品人等一千名入場席定るや先づ飯島審査長審査の報告をなし次いで佐藤會長の式辭、褒賞授與、宮木長官の告辭、總督（代理）橋本府尹、李郡守、來賓總代及び福田協贊會長等の祝辭あり終つて受賞者總代答辭を述べ式を終れるが此間頗る盛大なり式後宮木長官以下種を接して陳列品を巡覽、夫れより協贊會の招待に應じ公會堂の午餐會に臨みたり

因みに同品評會の審査總數は三千九百十九點にして中特等三名一等十九名二等八十一名三等二百二名四等三百九十八名の成績を示したり（木浦特電）

◉鮮米移出趨勢

本年一月以降十月末日迄の門司港への鮮米移出高は三十二萬三千六百九十二俵にして前年同期に比し六萬一千九百十五俵即ち約三割の激增を示せり增加の主因とも見るべきは朝鮮に於ける土地の開墾漸次旺盛となり植付段別廣大となりたる結果漸次產出高の增加となりたるものにて一方内地に於ける米價は常に強調を辿り殊に先般の風水害により京阪神方面は著しき被害を蒙り一般の需給關係に大打擊を及ぼすや在米は漸次減退するのみにて米價は又々暴騰を演出するに至りたれば米質に於て内地米と大差なき鮮米の需要激增するは自然の數にして之が移出は今後益々增加すべき趨勢にあり

◉間島地方財況

[illegible]々手擴く營業を爲しつゝある支那商人中既に倒產せるもの三軒あり左の如し [illegible]
[illegible]於ける十月中の露貨相場を示せば [illegible]
[illegible]んとする國境會寧に於ける本年之が增加の原因は輸出にありては [illegible] 銀貨の多額に輸入されたると運 [illegible] 七月より九月迄三箇月間の貿易額 [illegible] 機關の準備其他の理由にて粟の [illegible] 分戶稅滯納原因に付き京畿道廳 [illegible] 調査に依れば調定額三萬七千百 [illegible] 困貧困に因るもの百四十四圓金策 [illegible] 不如意に因るもの二十五圓其他の [illegible] にして營業科目は印刷一般、荷札 [illegible]

◉北鮮加里工業

北鮮沿海に於ける海草利用の沃度及び加里製造事業は有望にして北鮮日本海沿岸殊に咸鏡南北道には鬼昆布と稱する昆布の類殖し無盡藏に叢生し此の海草には沃度及び加里分を最も多く含有し居るを以て咸鏡南北道沿海は將來同業發展すべく而して沃度は印度及び南洋方面へ輸出せられ加里は内地及び支那、歐露方面の需要大なれば北鮮に於ける此種工業は前途頗る有望なるべしと

◉幾變轉は免れざらん（二） 過激派領袖は獨逸種、ケ内閣の倒因

露國消息通談

さりながら、我輩の想像は、平和の世に於ける露國の運命を卜つたもので、歐洲の戰亂は、國家興亡の岐るゝ處であるから、或は弛廢し切つた民心も幾分は緊張し來つて、國運挽回の機を作すかも知れぬと吾輩は思つて居た、而して既往三年の間には、吾輩の期待が實現さるべき氣勢が仄見ゆれでもなかつた、病膏肓に入つては、此程の大刺戟も竟に民心を救治することも、政狀を改善することも出來なかつたものと見ゆる、本年三月革命は寔に容易に行はれ、ロマノフ朝は

▲腐木の如く に倒れた、勞兵會は此の革命を援助したる功があるので、革命政府は同會の代表者に、萬端の政務に關する意見を聽いた爲め、自然勞兵會は政府の諮問機關らしき位置を占むるに至つた、爾來の政情は天下周知の通りであるが、今回再び革命を行つた所謂過激派なるものは、純然たる獨逸黨である、彼のストックホルムに於て開催されたる社會黨大會が獨逸の手に依りて司配されたのも事實である、露國より同會に出席したる多數黨（即ち過激派）の領袖等は、何れもトロッキー、カメニオフ、スカーノフ、マルトフなど〻大露國人の姓を名乘つては居るが、彼等は

▲實は獨逸種 であつて、近頃迄は其姓名も獨逸人の夫れを用ゐて居たものである、首領レニンも眞の露國人ではない、過激スコロベレーフが露國を代表して聯合國の會議に列席せる際、其齎せる使命は、ストックホルムに於ける社會黨大會の結論に外ならずと、ミリユーコフは喝破した程に獨逸の金に買はれ獨逸の傀儡が、露國政界の表裏に跳梁飛躍してゐた、本月六日の代行議會に於ける講和黨なるものも、例のストックホルムの決議乃至獨逸の急を迎へたる立案である、首相ケレンスキーは斯かる

▲非國民的分子 を掃除せざれば、露國の前途寒心に堪へずとして、屢次血を吐くの思ひを以て之を發明したのであるが、十分に滲透せる獨逸の毒氣は、竟に全國の政變を惹起するに至つた、無論勞兵會中にも、眞に國家の前途を憂ふる者はある筈だが、勢の趨く處、何とも致し方が無かつたのであらう、併しながら眞の憂國者が在るとすれば、何時起つて過激派を倒すことに成るかも知れない、何しろ勞兵會が少しく拗ねると、軍需品製造其他工場の製作能力が減ずる

▲糧食の輸送 が停まる、過般石炭の主產地たるドネースの出炭量が減少したとの報道があつたが之も獨逸の手で勞兵會に噐氣を注いだ爲であらう、勞兵會の勢力は恁ういふところから生ずるのである、實際戰線に在る軍隊でも糧道を絕たれると成れば屛易する筈だ、其勞兵會の大多數者は、中心を失ひ、國家觀念を有せざる下級民である、是等がレニン一派獨逸の手先きに雷同したので、假政府は譯も無く倒れたのである、而して今後の事一寸見當がつきかねるが、

▲單獨講和は 或は成るかも知れない、同時に其成る迄でレニン一派の主張を勞兵會が支持するや否やも亦問題である、縱し又單獨講和成れる後と雖も、夫れが永續するや疑問である、吾輩は假りに單獨講和迄押詰めたとして、日本は如何なる態度に出づるであらうかを想像して見る、露國が中立を宣言しても、獨逸は露國を如何に利用するか分つたものぢやない、其上地方の勞兵會は、露領在留邦人を善良なる隣人として遇するであらうかが氣遣はれる、萬已むを得ず日本が意を決して起たざる可からざる事情が起るかも測られない、若し斯うなると哈爾賓を中心とする東清鐵道沿線の

▲在留邦人 は別に心配するに及ぶまいが、沿海州、黑龍江省、イルクーツク州、貝加爾以東殊に其れにニコリスク、ハバロフスク、ブラゴエチエンスク、チタ乃至ニコラエフスク地方在留邦人は餘程危險である、と語して居る中にも過激派が跋扈するかも知れないと [illegible]

◉移民承認審査 五百戶を超ゆ

東洋拓殖會社にて募集せし第八回移民の應募申込者に對する承認審査は過般上村下の關出張所長入京し川上理事二宮植民課長等と會商協議の上其の方針を決定し以來審査を初め内地の應募者に對しては下の關出張所より又在鮮應募者に對しては殖民課直接にて承認の通知を發しつゝあるが目下の所其の總數第一種の自作移民第二種の地主移民を合し約五百戶を算し尚今後其の進捗を期する筈なるが申込者の身許調査等仲々進まざるものあり結局其の最終は年末となるべしと

◉朝鮮線工事進捗

滿鐵朝鮮線十月中の建設改良工事狀況左の如し

▲咸鏡線北部 雜工事十月中に竣工したるもの左の如し [illegible]假官舍を[illegible]假官舍に移築工事

▲咸鏡線南部 龍興江橋梁及前後土工其他新設工事 [illegible] 用假線一部新設工事 [illegible]

▲京元線 [illegible] 工事として報告するものなし

▲湖南線 [illegible] 線路改築工事 [illegible]

▲京釜線 [illegible] 線路改良工事 [illegible]

▲沃川大田間 線路改良工事（入戶九分來區間は九月六日以降作業休止中也）[illegible]

◉手形交換高

十月中京城手形交換所に於ける手形其他證書の交換金額は一千二百二十七萬二千七百九十七圓二十五錢此の證書枚數合計四萬四千三百四十七枚にして此一枚平均金額二百七十六圓七十四錢なり之を前月の二百五十三圓六十三錢に比較する時は一枚に付交換金額二十三圓十一錢の增加を示せり

◉遞信協會と會員

朝鮮遞信協會の會員加入勸誘は其後遞信當局にて之れを行ひつゝあるが既に多數の入會者あり月末までには全員の加入を見るべし

◎支那抗議提出 日米宣言に反對して

華盛頓駐剳支那公使顧維鈞氏は日米宣言に對する支那政府の訓令を齎し米國々務卿ランシング氏を訪問せり日米宣言に對する公式の抗議は公表せられざるも其大意は支那に關し支那國民の希望を斟酌せずして協定せられたる宣言に對しては支那政府は之に反對すと云ふにあるが如く同意味の抗議は東京にも提出さる可しと（華盛頓電報）

◎現在の戰局破棄されざる限り 獨逸は終に世界の霸權を握らん＝米大統領の演說

紐育來電＝ウヰルソン大統領はバッファローの米國勞働組合大會に臨み述べて曰く『現戰爭は武力を主とする舊代の方策と自由を標榜とする新代の主義との間に行はるゝ最後の戰鬪なり獨逸の計畫せる伯林バグダッド鐵道は他の六箇國の側面を脅かすものにて獨逸の現在の戰局圖が破棄さるるに非ずば彼は世界の霸權を握らん』と（倫敦電報）

◉憲兵修業式

去る八月十五日龍山步兵七十八聯隊より選拔し京城分隊に於て修業中なりし憲兵上等兵三十四名は三箇月間の教練を終へ十四日午後三時より京畿道警務部に於て修業式を舉行せり

◉僉參與官出張

僉京畿道參與官は龍仁郡農產物品評會褒賞授與式出席の爲め十三日出發十五日歸任の筈

◉木盃下賜

明治神宮奉贊會の趣旨を贊し金五圓以上を寄附したる岸辰一氏外十名に對し木杯一個宛を下賜せられたり（大田）

◉雇員試驗期日

警務總監部にて募集の雇員採用試驗は十五日午前九時警務課にて施行すべしと

◉湖州短信

▲貧地學校組合管理者天野貢氏司會の下に去月三十一日天長節祝賀會を郡廳に開催餘興には煙火の打揚げあり夜間は提灯行列、假裝行列、素人演劇等の催しあり非常の賑ひなりし▲平安北道慈惠醫院より醫員出張一般病者の診療中なり▲本部水源地新上洞なる谷口黑羽氏化上洞保護所主任は爲地に出張し來り昨夜いろは旅館に官民二十餘名を招待し盛宴を張りたり▲昨夜より降り出したる雪は朝四寸に達したり（十一月十日發）

人事消息

▲加藤鐵二氏 十四日夜入京朝鮮ホテルへ ▲寺尾規矩治氏（新義州稅關支署長）▲米山源太氏（清津稅關支署長） 十四日夜退京 ▲小沼貞藏氏（三井社員）▲藤井貞雄氏（同） 十四日夜入京浦尾旅館へ ▲能村千別氏（鑛業家） 同上 ▲中村辰五郎氏（鎭南浦醫院藥） 同天眞樓へ

◉百聞百種

紐育に全部女醫師で組織された病院がある▲其院長をモルトン博士と云つて有名な女醫師であるが▲今度は女軍醫團を組織して佛國に押渡り野戰病院の勤務をする相な▲看護婦長は既にサラロカの加奈陀第四遠征軍に從軍して一年有餘の實驗を有するトウンセンドと云ふ女である▲團長は勿論モルトン博士で團員中には十一名の女博士があつて▲内にはドロシー、チャイルドとフローレンス、チャイルドと云ふ姉妹の醫學博士も居るとか▲何れもカーキー服に身を固め軍裝勇ましく出掛けると事▲露西亞の娘子軍より此の方が餘ッ程有効だらうとの評判▲目下印刷局で使用して居る紙幣印刷用の堅黑と云ふインキは▲鹿の角の黑燒から製出するので年に一萬封度を消費し▲又印紙につける糊は埃及南アビシニヤ▲ナイル河の上流地方から來るアカシヤ樹の脂で之れは年に二十萬噸も要るさうだ▲印刷局と云へば或る時同局の技師が黑印肉は鹿の角を黑燒にして取るが▲葡萄の絞り糟からも取れると云ふと之れを聞いて居た池田局長は最眞目な顏をして▲ぢやア芋の葉ッぱからも取れるのだらうには追の技師も眼をパチクリ

●本紙の讀者に呈す

諸君！ 諸君は現在の職業に滿足し、自分の生活を意義ありと自覺して居るでせうか？

諸君！ 諸君は何のために生れ、何のために働き、何の爲に學問や名譽や財產などを欲するのでせう？

人生は果して解す可からざるものでせうか、試みに其一面を見ると洵に單純の如くで又洵に複雜なものである、眞に意義ある如くして眞に無意義である、極めて解し易くして極めて解し難きものである、吾人は現代人の須臾も閑却することの出來ない此等の問題を解決する鍵の所有者である、卽ち爰に諸君に推奬して止まないものは吾人が畢世の事業として多年唱導して居る【催眠術】の研究である、これは靈妙不測なる變態心理の實驗法であつて少しも素養のない人でも直ぐに修得され僅に其要領を得れば精神の統一は勿論、人生を超越する心境に達し一切を悟了する思想上の根柢を築くことが出來る、而已ならず此法は物質科學の企て及ばぬ種々の方面に優越せる特長を有し、自他の心身を操縱支配する偉大の效用を持つて居る故に其應用は諸君の日常生活に多大の幸福を齎すことは枚擧に遑のない程である

▲誰にでも通有する精神能力

▲自分で自分に行へば心身の抵抗力强大となり持に神經衰弱、ヒステリーに基因する不安、煩悶、不眠等は卽座に消散し記憶力、思考力、決斷力を增し頭痛、眩暈、其他心身の苦痛は閉目一瞬にして一掃さるゝを常とす（これは自己催眠の場合）▲他人に施しての效果も又甚だ多い、が主として教育、醫術感化事業の外諸種の心靈現象、忍術、仙術、氣合術、千里眼等の研究並に神經系統の疾病及惡癖に應用して奇効を奏することは人の能く知る所である（これは他人催眠の場合）

▲實驗二例

◉神か人か 參謀本部 櫻井熊太郎君

拜啓過日來御教授に預りし催眠術實驗の結果頗る好成績に付き御報告申上候過日鶴見花月園に於て報知新聞社主催の寶探しに至り人垣に探し候も徒らに他人の探し盡したる跡くのみ [illegible] 是偏に先生の賜と深く感謝仕候

◉透視の試み 茨城縣浦生郡 林 昂 枡

[illegible]

▲虛僞を信じ眞理を疑ふ者

▣新ダイヤと贋物のダイヤモンドは一寸見ては見分が附ない樣に、同じ大阪に同じ催眠術の廣告をして居る者が有る故眞に本會の實際を知られぬ人は矢張贋物の新ダイヤと同一に思ふかも知れぬ▣名もなき小新聞が信用ある大新聞を攻擊して紙を販る手段に出して居るのと同樣に世に定評ある本會を中傷して貧弱な自分の會を如何にも立派なもの〻樣に云ひ、虛僞を矛盾で固めた通信教授を▣自信と責任を以て指導するのも蓋しうそを信ずるものがあるからである到底其方法も又頗ろ逆歩して實地教授は懇切通信教授は平易周到手をとつて敎へるのと同じである其證據には日々本會へ送つて來る成功の感謝狀は机上に山を爲して居る世に斯界の模範と云はれるのは其所以である

○特價と特典

我精神科學會は創立十五ケ年間終始一貫して通信教科は五圓であつた、それを今回實費に均しい三圓に引下げを行ひ尚ほ其上に種々の特典まで提供して居る是非共諸君の入會を促すのは決して營利の目的でない其微衷を汲んで頂きたい、急ぐ方は通信教授料特價三圓お送りあれば著金次第送本します

本邦精神科學界唯一機關誌 精神時報（百廿八號）

[illegible]

◎會則付『精神時報』は五萬部限り無代進呈

大阪市高麗橋五丁目 振替大阪二三一五番 精神科學會

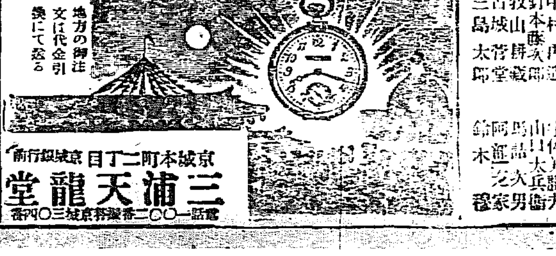
來十一月十七日故從三位勳二等吉原三郎氏一周年忌辰に付同日午後一時南山町京城ホテルに於て追悼會開催致候間御參會被下度候也

追て一々御案内不申上候に付御諒承被下度尚御供物は御辭退申上候

大正六年十一月 發起人（イロハ順）

原田金之祐 秋谷靜夫 遠山熙 趙鎭泰 大垣丈夫 金谷充 高野省三 中村再造 釘本藤次郎 牧山耕藏 古城管堂 三島太郎
白完鎬 西村道彥 子爵趙重應 小原新三 川上常郎 韓相龍 子爵宋秉畯 [illegible] 山口太兵衞 馬詰次男 阿部[illegible] 鈴木穆

時計貴金屬指輪眼鏡商



地方の御注文は代金引換にて送る

京城本町二丁目（京城銀行前） 三浦天龍堂 電話一〇〇二番 振替京城三〇四番

第貳拾壹回決算報告

貸借對照表

資產之部

科目	金額
拂込未濟資本金	六〇、〇〇〇、〇〇〇
預ヶ金	貳、參〇〇、參壹六
貸付金	貳貳、貳貳貳、八參〇
營業用土地建物	壹、九參〇、〇〇〇
所有土地建物	參七、四貳八、〇九〇
什器	貳六八、貳六〇
金款	貳、壹九參、八九貳
假拂金	[illegible]
合計	壹貳五、九六參、參八八

負債之部

科目	金額
資本金	壹〇〇、〇〇〇、〇〇〇
積立金	五、六參貳、〇〇〇
借入金	壹五、〇〇〇、〇〇〇
未拂配當金	四四八、五〇〇
當半期益金	九壹八、五〇五
前半期繰越金	四、壹六參、參八參
假受金	貳〇〇、〇〇〇
合計	壹貳五、九六參、參八八

右之通ニ候也

日韓殖產株式會社

醇良清酒

大阪府堺市 醸造發賣元 肥塚源次郎

京城本町一丁目 特約販賣店 佐藤牧太郎（電話長二九番）

大正六年十一月十五日 (水曜日) 京城日報 (明治三十九年九月三日第三種郵便物認可) 第三千弐百五十號 (三)

ちの狀態にして關島地方にては露[illegible]渾春の影響の如き蓋し決して鮮少なるものに非ず渾春城內に於て稍[illegible]しと觀測せらる同地にて日本內地より商品を輸入し露貨にて小賣する鮮人商人の如き何れも破產の悲境に瀕しつゝあり今渾春地方に局子街龍井村地方に於ては目下全く露貨の流通を見ざるに至れり

◎會寧貿易增進 近く淸會線の全通に依りて一新生面を革せ[illegible]萬七千七百十九圓にして之を前年同期に比するに輸出に於て四萬七千八百二十八圓を輸入に於て十二萬四千三十六圓の各激增を見たり[illegible]下向の趨勢であり(?)しも一方大豆類の好相場は同地方をして愈々人氣立ち諸物貨賣行良好の結果輸出の增進を見たり次に輸入增加は紙幣[illegible]に原因せるが[illegible]は頓に激增を見ん(淸津)

◎戶稅滯納原因調查 九月中の納期に係る大正六年度第二[illegible]の三分五厘本年第一期分の一分六厘に對し滯納稅額の減少を見るに至れりと而して其滯納原因の內譯を聞くに怠慢に因るもの百六十三[illegible]

◎[illegible]山實業家數氏の發起にて羅南印刷株式會社創立の計畫あり此程設立認可を出願せしが資本金六萬圓[illegible]

陸軍特別大演習

鏡村にて 中谷特派員

△互に斥候を放ちて 敵狀の偵察に努む

◇その前夜の兩軍行動

△南軍 十三日夜上野方面に向つて前進を始め四師團は其主力を上野附近に一部を名張附近に更に他の一部を高田附近に止めて宿營し又十六師團の主力は大與附近に一部は伏見八幡附近に達して同じく宿營す、第四師團より派遣せられたる步兵約一大隊を以てする部隊は木津川北方高地を占領し停車場援護に任ず、騎兵隊は行斥候は關ケ原長濱方面に前進して敵狀を偵察し第十六師團、四師團は伊勢方面より名古屋岐阜方面の敵を搜索す

△北軍 中仙道を前進せる第三師團の主力は醒井、樽井附近に其騎兵第三聯隊は鳥居本に宿營し、北陸街道を前進せる第九師團の主力は長濱井ノ口附近に其騎兵聯隊は鳥居本に宿營す、步兵第一大隊(機關砲一隊を附す)は午後六時宿營地出發、高宮附近を警戒す又同師團は敵狀偵察を兼ね勢多の橋梁を破壞せしむる爲步兵一小隊(機關銃隊一小隊を附す)及び工兵半小隊を夜半長濱出發の汽船に依り北方に派遣したり(十四日午後三時發電)

△大纛を鏡村に進め給ふ

♣御野立所にて親しく御統監

陸軍特別大演習は愈々十四日より開始せらるゝ、朝來雨降りては歇み歇みては又降るなど陰晴定まらざりしが特別列車の彥根驛を發車する頃一天拭ふが如く霽れ渡りたり予(中谷特派員)は野洲驛にて下車し平家時代に名高き祇王祇女の出でたる祇王村、大篠原などを通過して只今鏡村に到著す大篠原にては第十六師團長梨本中將宮殿下の圍ある民家の裏手に起たせらるゝを見受けたり鏡村の御野立所は些やかなる山上に天幕にて設へられたるが大元帥陛下には間もなく田夫野人等の奉迎裡に馬上御豐かに錦旗を秋風に飜へしつゝ著御あり遠近の山姿綺の如く眺望に富める御野立所に起たせ給ひ双眼鏡を御手に兩軍の戰況を鑾はされ上原參謀總長より戰狀を聽召されたり(十四日午後三時發電)

△安土城の事跡を聽召さる

…從中尉の光榮…

大元帥陛下には在鄕軍人を思はるゝこと深く昨年の九州大演習の際にも在鄕將校の講話を聽召されしが今回も赤江州の人後備步兵中尉從敎一氏を鏡村の御野立所に召されたるに依り同中尉は身に餘る光榮に感激しつゝ安土城の由來を謹んで御講話申上げたり此の間約二十分間陛下には御威儀だに崩し給はず時折中尉の指し參らする方角に御眼を注がせられ長き事跡を最と御熱心に御聽取相成りたり(十四日午後三時發電)

△日野川附近の衝突戰

♣南軍鐵橋を破壞され北軍退却す

明くれば十四日、細雨霏々として戎衣を潤ほす、拂曉第九師團は米原より南進し第三師團は中仙道東方の地區を前進して日野川の線に主力十六師團主力は中仙道の一部朝鮮人街道を日野川に向ひて前進第四師團は步兵二中隊騎兵一中隊を先發とし八日市の南方約一里長谷野に向ひ前進、主力は砂口を經由日野川の線に向ひ前進したり斯くて北軍は午前四時勢多川の橋梁を破壞せし爲十六師團の前進は約一時間遲延を見るに至れるが八時十分北軍騎兵は步兵を後衛とし觀音寺の麓にて南軍の一中隊を擊退し南軍騎兵隊は北軍騎兵の後方に出で之を北方に驅逐せり此の間北軍の飛行機百八號は故障の爲め八日市に著陸し第十六師團は一大隊を中仙道に出し日野川附近に一大隊を其後方なる鏡村の北方高地より中仙道を扼せる一帶の山面に步兵三大隊を配置す砲兵の主力は高木村一部は鏡村に配置し朝鮮人街道に一個大隊を進む第四師團は南生郡を占領し其の主力は豫備として鑄物師に集中し第九師團の右縱隊は八幡の南端を、三師團の主力は雜割山の南麓より中仙道に亘る一帶を占領し豫備隊を武佐村に集中す第三師團左縱隊は柴原南村南方高地を占領又左縱隊は市ノ邊村南方高地を占領し師團の豫備は市ノ邊に集中、南軍の豫備は雜塚を占領したりとの報に接せり此時(午後一時)飛行機のプロペラーの唸りと共に遙かに小銃の音を聞くのみなりしが其も束の間、間もなく元の靜寂に歸り試みに鏡山御野立所邊より眺むるに一兵の動くをも見ず遙かに伊吹の白雪と鏡の如き琵琶湖の水榜ては安土城等往年英雄が霸を爭ひし平原を見るのみ、軈て北軍退却の報に接したるが十五日は川瀨附近にて壯烈なる戰鬪を現出するならんと期待さる(十四日午後三時五十分發電)

△彥根還幸

生民堵を爲して奉迎送

大元帥陛下には午後四時と云ふに御野立所を御下山遊ばされ御馬車にて中仙道を野洲驛に御出ましの上宮廷列車に御移乘彥根へ還幸相成りたるが沿道到る處蒼生堵を爲し殆ど千載一遇とも云ふべき今日の光榮に感泣し合へり(十四日午後四時發電)

◎假停車場は何處に

▽南大門驛新築は明年四月より着手せられん

京城市勢の發展膨脹は日一日駸々乎たるものあるに拘はらず南大門驛は昔が大陸首都の玄關として甚だ不體裁な建物で十年一日の如き態だが愈々同停車場の改築は本紙既報の如く大正七年度總督府豫算に計上され

◇今冬の議會 を通過すれば明年の四月から二箇年繼續事業として大正八年までに宏壯な驛舍を建設さるゝ事に確定した、而して其の新驛は既に書いたやうに諸君は不便でも龍山驛から乘降して欲しい、すると新驛の建築は非常に都合よく進むのである、然しこれは鐵道の勝手のみを云つた譯で恐らく市民より非常の反對攻擊を受けるであらう、又實際に於て市民は少なからぬ不利を感ずるだらう

◇西大門驛も 途中に急坂があつたりして不便である、結局止むを得ないから多分現驛舍の龍山に寄つた方乃ち稅關出張所

◇皇后陛下 女學校へ行啓

十四日皇后陛下には京都府立第一高等女學校及私立高等女學校に行啓府立第一高等女學校を同じく生徒の成績品など御覽御遊啓あらせられたり(京都電報)

現停車場の位置を中心とするのであるため素より今の停車場はすぐに取り潰されて終ふ乃で新驛營造中の二年間京城市民はドノ驛から

◇汽車に乘降 をするか これ仲々容易ならぬ問題と云はねばならぬ、之れを某有力の鐵道當局に聞くと、曰く現南大門驛は取り毀して終はねば新驛の設營は出來ない、その間の京城乘降客取扱方法は二案ある、乃ち(一)龍山並に西大門停車場から乘降して貰ひたき事(二)は新驛建築中假停車場を設くる事である、予等の考へを率直に云ふと

◇其の二年間 多少市民

近くに小さい假りの停車場を特設し、其間乘降をして貰ふ事にする外はあるまい、之れは驛舍新營上可なり不便だが非常な障碍を受けると云ふ程度ではないやうだ

初冬の町へ ——松井寫——

◎列車の正面大衝突

南海鐵道線の椿事

▽即死四名重輕傷五十名

原因は打合せの不十分とタブレットの故障から?

十四日午前九時二十七分南海電鐵線深日驛を距る六丁南にて列車の正面大衝突あり双方共大破し即死者四名、重輕傷者五十名を出せり重輕傷者は直ちに大阪赤十字病院及び井上、武藤兩病院へ收容したるが尙十七名は和歌山へ送致せられたり椿事の原因は双方の打合せ不十分なるとタブレットの故障に基くものゝ如し(大阪特電)

◎櫻井町大火損害

京城櫻井町の大火損害額は目下取調べ中なるが其の內最も被害の多かりし戶部質屋の分は住宅及び倉庫四千圓工場と其の備品四千圓質物四千圓、洋紙五千圓、製品二千圓諸機械材料一萬七千圓家具衣類其他二千圓合計三萬八千圓に達したるが內一萬七千圓は保險を附しありたりと

◎日本一の大炭坑發見

東京にて地質調查鑑定を爲せる理學博士巨智部忠承氏は京都府下加佐郡、何鹿郡に亘る二千五百萬噸の無煙炭坑を發見せり日本一の大無煙炭坑たる可し(東京特電)

◎五人組の兇賊 富豪を襲ふ

去る十日午後六時京釜線若木を距る北方二里慶北漆谷郡北三面吳太洞の金滿家張承達(六五)方に五名の賊徒押し入り來り三名は戶外に見張りを爲し二名は內房に押し入り突然拳銃を放射して張の咽頭部外二箇所に重傷を負はせたり同時に見張りを爲し居たる他の三名も亂入し居合はせたる漆谷郡石積驛[illegible]し他言を語さずと威嚇し石油入り罐及び燐寸を室內に投げ付け何れへか逃走せり急報に依り若木憲兵派遣所より憲兵現場に出張し嚴重に調查の上犯人の搜查中なるも未だ縛に就かず

◎賊は鮮童

仁川水門巨里生れ李壽京(一六)は十月二十五日仁川北町一丁目岩村方家人の不在中錠前を捻ぢ切りて侵入し洋服一着(三十圓)靴一足(十圓)を竊取し其の後十一月には京城に乘り込み舟橋町野田方にて時計指輪等(三十圓)龍山漢江通十五番地多田、吉野町近藤運送店に忍び込みたる際同店員の爲め逮捕され本町署に引き渡さて取調べの上檢事局へ

◎監獄へ逆戻り

咸北明川郡阿間面沙洞崔斗京(三五)は竊盜再犯懲役六箇月にて咸興監獄を去る九月二十三日出獄したる者なるが肩書地へ向け歸宅の途中洪原警察署管內にて詐欺を働きて檢擧され又も本月二日檢事局送りとなれり

◎巨虎二頭の足跡發見

豹も三四頭は確かに居る

◆元山組狩立を始む◆

咸南江原道一帶の山地に向ひたる虎狩隊の本田砲手(元山組)一行は九日より二日間腕試しの爲め熊狩を爲せしも見當らず陣地を變更して咸鏡嶺を中心とせる二里內外の山中に巨虎二頭の足跡五寸以上のもの及び約三四頭は確實に棲める事を認めたれば十三日より狩立てを始めたるも何分雪降り居らざる爲め行動困難なり此の地一帶は普通の山なれば登攀には困難ならず本部の來るも行動に不便を感ぜずと本田砲手より第一回の報告に接せり(元山特電)

▽虎狩の參加者

朝鮮虎狩隊一行は十五日午前九時三十分南大門驛發元山に向け出發すべく其の參加人名左の如し

▲幹部 山本唯三郎、金子篤三、新島公義、原萬四郎、佐久間秀雄、井上勝虎、林田七郎、福田造、天野康夫、福田義信、池島隆一、里崔伊太郎(本社上田元三)

▲新聞記者 (岡山新聞)岩崎榮(朝鮮新聞)林有造(京城日報)早川巳之利(每日申報)沈天風(國民新聞)太田茂(九州日報)小田部博美(元山每日)笠松英夫(中央新聞)村三浦(福岡日日)中野葛雄(中外商業)大阪薇(萬朝報)山岡超雄(實業之日本)吉澤良知(日日)澤井治策(大阪新報)不倉綾三郎(時事新報)筱原直造(中國)元田美穗(やまこ)常原南穀▲京日[illegible] 山端方翠▲(畫家)金丸[illegible]

◎下落した 銘仙!! 自慢の珍柄 澤山著荷 京城本町 ちぬや 電話八九〇番

◎破翁庵の菊花 大阪朝日の橫 破翁氏の菊花は既に京城の優良なるに於いて有名なるが同氏が過般來東上中開花前の後 良花は大半悉く萎りて腐敗したるが此程歸京したれば既に開花したるもの數十株を南大門通りの同社京城支局階上に陳列し居れる由同好者の觀覽を希望す

◎梅の家の披露宴 南山町千代本跡に開業せる料理店梅の家にては十五日午後五時より披露宴を催す由

◎給仕募集 鮮銀調查部にては給仕二名採用すべしと希望者は尋常卒業十八歲以下の者たるべし

技術紹介(三島)

京城本町 千代田號

回潜航艇後編 有樂館に上場中の潜航艇の秘密は來る十六日夜より後編さして二十一卷より三十卷にて完結する筈なるが、同館の興味は前にも況して如く全く中編及び後編にあり

圖孔雀草劇封切 大正館にては目下大阪朝日に連載好評を博しつゝある佐藤紅綠作の孔雀草劇の續篇化を取寄せ京城人の爲神戶に先立つて十六日より封切を爲す由なるが同寫眞は成金の放埒なる家庭か摘出せるものにて可なり深刻なるものなりといふ、尙其他の寫眞左の如し▲宮殿ノルマンテー若都の風景▲滑稽活劇デブ君の水難▲喜劇いかゞが平治金四卷▲冒險活劇拳の曲馬全四卷

公告

京城地方法院

左ノ不動產ヲ左ノ日時ニ競賣ニ附ス入札保證金ハ申出額ノ十分ノ一トス

●始興郡西面下安里拾壹番地
一畓七百四拾貳坪
最低競賣價額金壹百拾壹圓參拾錢
同所參拾九番地
一畓壹千四百拾八坪
最低競賣價額金貳百拾貳圓七拾錢
同所四拾七番地
一畓七百八拾坪
最低競賣價額金壹百拾七圓也
同所貳百六拾四番地
一田七百參拾坪
最低競賣價額金四拾圓拾九錢也
同所貳百九拾四番地
一畓壹千六拾八坪
最低競賣價額金壹百六拾圓貳拾錢
同所五百九拾九番地
一畓壹百拾壹坪
最低競賣價額金四拾六圓六拾五錢也
同所六百拾四番地
一畓參百〇八坪
最低競賣價額金四拾六圓貳拾錢也
同所六百參拾九番地
一畓壹千四百七拾參坪
最低競賣價額金貳百貳拾圓九拾五錢也
同所六百四拾五番地
一畓壹千六百四拾八坪
最低競賣價額金貳百四拾七圓貳拾錢也
同所六百五拾四番地
一畓壹千貳百拾五坪
最低競賣價額金壹百八拾貳圓貳拾五錢也
同所六百五拾八番地
一畓壹千九百八拾坪
最低競賣價額金貳百九拾七圓也
同所六百九拾九番地
一畓貳千九百參拾壹坪
最低競賣價額金四百參拾九圓六拾五錢也
同所六百七拾貳番地
一畓貳百八拾八坪
最低競賣價額金四拾參圓貳拾錢也
同所六百七拾六番地
一畓壹千百四拾參坪
最低競賣價額金壹百七拾壹圓四拾五錢也
同所六百八拾番地
一田六百五拾六坪
最低競賣價額金參拾六圓八錢也

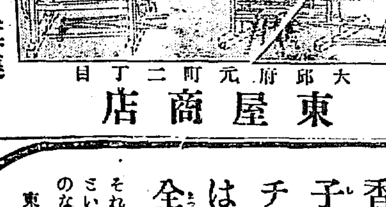
右競賣申立人 梁玉貞
不動產所有者 金兌鎬

△以上競賣期日ハ大正六年拾壹月拾四日午前拾時トス

金銀諸 黃銅鈴。齒科用金箔 無地金屏風。押紙 箔鈴商 右各種製造發賣 京都市御幸町御池南入 堀至善堂 振替貯金大阪六四四番 電話上五百五十九番

◉特約販賣人募集 各道廳 各郡廳 朝鮮各道種苗場 東洋拓殖會社 各郡繩叺改良組合 御用達 希望の方は往復ハガキにて御照會被下度候

專賣特許 船津式繩叺機械

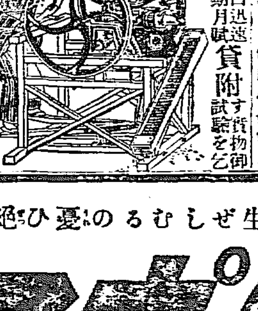


大邱府元町二丁目 東屋商店

大阪屋號書店
此處に道あり 大井 村月 一、四〇
世界さ共に覺めよ 海老名彈正 一、九〇
桂月學生文範上 大町 桂月 一、〇〇
演說法講話 加藤 咄堂 六五
實用作文寶鑑 大町 桂月 一、二〇
能の見方と謡の聞き方 池內信嘉 一、八〇
任俠性及び勇氣 與謝野晶子 一、三〇
基督教と近世思潮 [illegible] 六五
婦人よろづの手紙 栗田 [illegible] 九〇
[illegible]の自然科學 若林 欽 一、六〇
一品三錢で出來るおいしい料理 [illegible] 六五
最新賣藥案內 [illegible] 四五
現代藝妓十講 [illegible] 九〇
U202 潜航艇戰記 [illegible] 六〇
社會と經濟 [illegible]
戰爭と經濟 同 三、八〇
鑛床地質學 加藤 武夫 三、〇〇
數學者の手帳から [illegible] 一、〇〇
月想の珠玉 上下 石上露之助 各七五
各種かるた取揃居候 各種日記到著仕候
京城本町二丁目 電話八四二〇八六 振京城二五七三

最新刊

人力精米麥機



運轉安全精白迅速 信用ある方へ長期月賦貸附す 貨物御試驗を乞ふ 詳細圖入說明書は申込次第送呈 製造元 大阪西區市岡町 東亞物產社

眼鏡 米國製金張眼鏡 甲 四圓五十錢 乙 三圓五十錢 丙 二圓五十錢 (玉サンタナシ) 近視、遠視、老眼、乱視、其他凡て玉の大小を御通知被下度候 御注文の節は凡て玉の大小を御通知被下度 中村眼鏡店 京城本町一丁目

赤毛を生ぜしむるの憂ひ絶對になし

レートポマード

此の新煉香油生れて男子にはコスメチック、女子には髮附が全く不要!! それ程附け工合こいひ、匂こいひ一點の非のない最新式の煉香油です 東京 平尾贊平

櫻御殿

第六十七回 大阪 霞の家主人

安藝の月(七)

「奥方の御意を聞いて、毘奴は手を控へる、芳野は進み出て「可愛や、お伴侶の衆が御急病と見ねますのう」と優しい情ある聲で問いた

すると、枯草の蔭に埋まつた如くなつて苦んで居た村平が、涙の眼から掌を合せて

「有難うござります、お蔭さまで命拾ひを致しました、この御恩はいつまでも忘れません」と云ふ傍から、童子も同じやうに掌を合はせて

「辱うござります〳〵」と伏拜む

「急病と見ねます、お藥を進ぜませう」

芳野は提げて居た印籠から紫雪を出して童子に與へる、童子はそれを村平の口へ持つて行つて

「叔父さまがお藥を遣はされた、服みやれ〳〵」

「有難うござります〳〵」

村平は幾度も禮を云つて服む、主從の情愛が花の香る如く香る、

芳野はまたほろりとして

「旅の衆とお見受け申す、何れから何れへお越しぢやの」と親切に訊いて試た

「はい〳〵、よくお尋ね下さいます、この坊さまは紀州の領主、畠山樣の御內で人に知られたお武家樣のお世嗣でござります、畠山樣は太閤殿下に攻め討たれて敢なく御生害、御一門は申すに及ばず、多くの御家來衆、八部までは討死、殘るは降參、または何れかへ離散して、只今では見る影もなく零落した譯で、このお方の御父上、三國勇介樣と仰せ遊ばすお方だけは、おのれやれ石に噛み付いても畠山樣の御家名を再興致さずに置かうかと、さま〴〵御苦勞遊ばしましたが、御運拙なく八年前に御病死、後には坊樣只お一人お殘り遊ばしてござります、御領主とは申しながら、尾羽打ち枯らした御浪々の御身の上、お貯へとてもござりませぬ、その隙を何うか斯うかお育て申して、今年十歲にならせたまふ、關ヶ原の御一戰から、江戶內府公御威勢勃り、やがては天下の御主とならせたまふ旨、人々お噂申し上ぐるに由り、當の怨敵たる大阪へこそ御奉公はなるまじけれど、內府公御手について、御先祖の御名も揚げさせたく、少しの御忍を心當に、駿河府中まで參らうと存じ、紀州を立つたは十日前でござります、それが大津から氣にかゝり、やつと此處まで參りますと、もう一步も步くことが能きませんで、お恩々の御通行と存じながら、立ち退くことも協はず、お叱りを受けて居たところへ圖らずお助けを蒙りましたも、御先代樣御魂があなたのお胸へお宿り遊ばした故と存じます、この御恩は忘れません、坊さまもお禮をお云ひなされませ、有難うござります〳〵」

云ふ中も苦しさが迫つて見ねた童子は詞なく伏拜む

「可憐や、御苦勞を爲されます、そこへもう日が暮れる、あなた衆の宿までお越し遊ばすことが出來ますかな」

「いゝえ、とても步けません、斯樣に申す中も胸頭へさし込んで、息が絶ねるやうでござります」

「それでは爲らぬおぢやでござりませぬか、お前樣の身に萬一の事があつては、坊さまがお不憫さうでござります」

村平はもう生つて居ることも出來なくなつてぐたりと前へ倒伏した

「村平いのう、村平いのう、[illegible]」

[illegible]たしかに持つてたもれ」

童子は涙ながらに呼ぶ、その聲が胸に滲んで、芳野は[illegible]へ馳けて來た

「芳野、何うであつたかの」

美知姫は待ちかねて問ふ、芳野は始終を物語つた

村平主從はそも何者であら[illegible]

百五十里行(一) 芳宙

平壤出發 落葉踏む我が門の睢愛ほしき朝哉

新安州 早服屋の冬物を見て居る細帶の女

軍隅里 月の夜深き牛車が絶わず軋らせる

北陸 カラダ振り讀む舉徒に薄き冬日ぞ

球場 車夫が腹這ひ呑む水に星が集れる 俥の影地に長う陽が落つるなり

○水強く照らす陽に山は紅葉せる

○鐵魚鋌の來ては去る秋の暮る丶門

新興里 屋根石山ガラに夕陽を零ぼす躁樹

新刊紹介

△歌劇十曲(小林一三著) 新作歌劇十曲即ち日本武尊、曾我兄弟の仇討、リサール、鬪牛士、竹取物語、ダマスクスの三人兄弟、松風村雨、桃色鸚哥、大江山(夜の巻)を收む、折柄[illegible]くも同好の人は是非讀みなさい

△●●●●近代音大博士●●● 東京市本所區の役所前大日本代書者會四川版部の編纂にかゝる代書大博士は多年同の道に就き實地研究せるものを汎く知らしむる爲め編纂されたるものにして現行諸願書全般に亘りて殆も規例可應にあてたる様きたる代書者は勿論一般家庭に於ても座右に備へ置かば平中代書の本體を極[illegible]

△らの忘年會に餘興として上ぼすも面白からむ(一冊案京芝公園九號地の二玄米社)

△榛名の梅ヶ香(伯知演) 約五百頁の長篇講談が一冊僅か三十五錢とは此の頃の[illegible]

△日の丸(二ノ一二) [illegible]

△ヱ・パナシ(二の二) [illegible]

△實業之日本(十一月一日號) [illegible]

△京城學報 [illegible]

△極東時報(四二) [illegible]

△祭新聞(四二) [illegible]

△拓殖新報(七〇) 日本發送新聞社

△美術月報(一一) [illegible]

△中央佛教(一〇三) [illegible]

△法治國(三六) [illegible]

△住宅(一ノ二) [illegible]

△青年論(一の八) [illegible]

△工業商事通信(一の二) [illegible]

△獨逸語青年(一の二) [illegible]

△書籍御案內▽

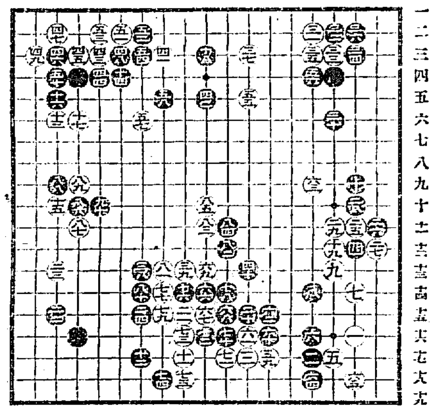
桃川如燕 名婦傳	價六〇 郵八〇
早川貞水 赤穗義士傳	六冊各價五〇 各郵八〇
德富蘆花 外交奇譚	定價二〇五 郵稅二〇
同 自然と人生	定價三〇 郵稅四〇
同 青蘆集	定價二五 郵稅四〇
同 青山白雲	定價二五 郵稅四〇
德富猪一郎 世界の變局	價二〇 郵八吉
松林伯知 御前講談	價一七五 郵一〇
桃川如燕	
國民新聞社編 理想の家庭	價九〇 郵八〇
民友社發行 女義士傳	價五〇 郵八〇

發行 京城日報代理部(振替京城三〇〇)

圍碁手合(三)

臨 山平壽氏 三段 來見治一氏

自チの十六(一)より黑ヨの十九(十)迄



大阪期米

十四日後場 大阪期米 二十四圓四十六錢

△當限寄付 二十三圓[illegible]

△中限寄付 [illegible]

[illegible]

全治して喜び醜狀が山の如く着院す

あざ ソバカス ほくろ イレズミ

捨置ばハヂになる 今早くなをしなさい

皮膚科專門陸軍一等軍醫尾塚博士の發見したる不思議にヨクキク藥 有三錢切手封入東京府淀橋町柏木百廿番 東京博愛藥院宛申込めば確實早くなを秘密になをる自宅新療法無代進呈

胃腸最新藥 チケスチン

●食慾が進まない時に食慾を促す ●元氣が衰へた折に活力を與ふ ●貧血のものに血液を補給す ●精力の增進と體量の增加を促す ●現今醫學大家は胃腸の特效劑に本品を最も賞用せらる

義手足

新案輕便單九鉤發賣 高野義手足製作所 京城本町一丁目五一 電話一〇六

せきずゐコルセット 大きんたまサスペンサー 器械

百圓進呈

りん病 諸物三圓 合並二圓 送料廿錢

ばいどく 藥價特製二圓 並一圓

帝國醫科大學病院

淋病藥主藥は治癒劑とし梅毒藥主藥は驅梅內服藥とし醫藥學上並有効と確定せる等に於て穿鑿配劑せる高貴藥ちることを保証す若し前述の證言に違ふる事を發見せる時は分析料として百圓進呈

▽あらゆる治療を請ずるも効かき患者宛に角一度來談あれ

にせ物あり 大阪有田 要を再販あれ

京城南大門外停車場通 大阪ドラッグ商會滿鮮本部(振替京城二五五番)

元山本町三 大阪ドラツク商會 京城黄金町三 大阪ドラツク商會

大阪三休橋 大阪ドラッグ商會

販賣店ハ他ニ二店ヲ許サズ

京城 南大門外停車場通 大阪 グラッド

局の道しるべ 村上唯吉共著 山縣五十雄 價十五錢 郵稅二錢

發行所 京城日報代理部 振替三〇〇番

京日案內

普通

●貸地 光熙門附近畑約四千坪園藝蔬菜養鷄養豚等好適面積一部分割も可委細面談 電九八九 大島 45

●製造販賣業を希望する者至急五六名入用本人來談あれ日本人 京城明治町一ノ五四 乾製本所 4

●貸家 日本建官吏向數戸あり 所鍾路發祭署裏家賃格安 仁寺洞二五五 井村 電一〇六七 46

●店員二名入用 年齡二十歲以上但商業に經驗ある者外に同姓名在店人二名採用年齡前記に同じ

●家屋賣却 市內旭町二丁目いろはへ降る百六十坪家賃月三十圓有望附坪十三圓 鍾路小林代書所 37

●ゴム風船ゴム賣月ゴム毬ゴムサツク紙製玩具卸問屋 京城太平通二 太陽ゴム商會

●店員入用 十七八歲より廿五歲迄 南龍山電車終點前 龜屋雜貨店 27

番外

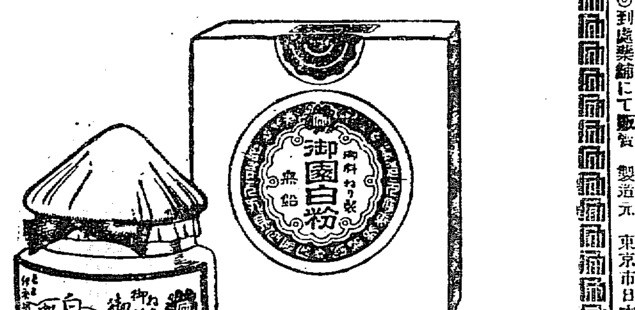
●讓店 本町通り目抜の場所にて營業中の菓子[illegible]至急讓る希望の者は南米倉町三井旅館へ來談ありたし 47

店員入用 年十七歲より二十歲迄市內に經驗有なる要保證人但酒類販賣の事 本人來談(電二八〇) 京城黄金町一丁目 三巴商會 34

銃砲火藥獵具 京城明治町 電話三〇二 瀧川銃砲店 支店 太田、公州 776

恩給年金 低利無掛引 五年半分迄 即時立替 若草町六一 電話二千十一 西村商會 795

雜木 各種原木板類 机 卓子 ワクロー脚 各地圖面送附有 見積 京城黄金町 本明雜木店 29



御料御園白粉

日本で一番良い白粉は何でせう 白粉の數は澤山ありますが 一番良いのは御園白粉です

御園白粉(みそのおしろい)

金二十錢、金三十五錢、金七十五錢

何故御園白粉は一番良いでせう 鉛分なくノリよくノビよく 肌の生彩を美くしますから

御料御園白粉本舗 伊東胡蝶園

御料御園白粉發賣元 丸見屋商店

(79)

淋病新藥 ツヨール

◎到處藥舖にて販賣

製造元 東京市日本橋區川瀨石町 ツヨール商會

發賣元 大阪道修町三丁目 田邊五兵衛 振替大阪八六七番

▲故下山藥學博士、慶松藥學博士證明 ▲田中醫學博士實驗 ▲朝比奈藥學博士、岩川醫學博士檢定 ▲笹川醫學士、加藤國手醫學士、山田獨醫學士等の實驗の結果理想的內服治淋劑と確定せる。

▲本品は殺菌力を有し且絕對に胃腸を害せず ▲膀胱カタル尿道炎、睾丸炎、腎臟炎、消渴等其他一般急性、慢性、淋病に偉効を奏す

卅粒入 六拾錢 五十粒入 九拾五錢 百粒入 壹圓八拾錢

▲說明書無料贈呈す

産科 婦人科 京城壽町 電話一二〇一番 二宮醫院 醫學士 二宮亮吉

資本金參百萬圓 明治三十六年創立

株式會社 漢城銀行 京城府南大門通四丁目五番地

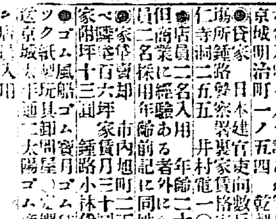
長 男爵 李允用 專務取締役 韓相龍 支配人 張弘植

電話 六四六番 二三九番 振替京城 一八六二五番

支店所在地 水原、平壤、大田、開城、南大門

出張所所在地 鍾路、東幕

當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ鄭重親切ニ取扱申候



今 昔

効能第一 逆上を引下げ便通をよくし黴毒其他諸毒を下す

効能で賣れるひふくもり

大日本大阪高津 電話南三元 振替大阪七三 本舗 ひふくや 伊藤長兵衛

內外科 小兒科 花柳病

京城本町二丁目(壽館前) 電話二一六番

高井醫院

院長 高井 診察自午前九時至午後九時 日曜祭日正午迄

副院長 正六位勳四等功五級 高井貞治

千葉醫學士 松崎正彥

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戶、大阪行 和歌浦丸 十一月廿一日 後五時 立神丸 十一月二十二日 後五時

○元山、浦潮行 和歌浦丸 十二月 日 後十時

○元山、西湖津、新浦、城津、清津行 立神丸 十一月二十日 後四時 第三平丸 月 日 後六時

○門司、宇品、神戶、大阪行 第三平丸 月 日 後六時

○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天草丸 毎月二日 九日 十四日 廿一日 廿六日 午後十時出帆

本社 釜山港埋立新町 取扱店 大池回漕部

大阪商船仁川出帆

外航各所定期航路(諸事航路を除く)乘船の時は五分以前に連絡[illegible]

○神戶、大阪行 ×濟州丸 月 日 ×濟州丸 月 日 後二時出

△群山、神戶、大阪行 △汕頭丸 十一月十八日 後二時出 信ノ川丸 月 日 後二時出

●木浦、釜山、嚴原、郷の浦、長崎行 ×安東丸 十一月十八日 後二時出 ×安東丸 十二月四日 後二時出

○南浦行 汕頭丸 濟州丸 月 日 後二時出

●鎭南浦、大連行 安東丸 十一月廿九日 安東丸 十二月十七日 後二時出

●西湖津新浦城津清津行 宮島丸 十二月四日 後二時出(元山出)

●清津行(元山出帆) 宮島丸 十一月十五日 後二時出

●上海、基隆、打狗行(大連出帆) 基隆丸 十一月十六日 後四時出 湖北丸 十一月三十日 前六時出

御注意 ●乘船の際は切符を[illegible]

切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話五五八番

切符發賣所 內國通運會社京城支店 電話七〇八番

切符發賣所 仁川京城通 開明旅館 電話二六一番

金泉尙州間自動車著發時刻 [illegible]

織居自動車部金泉支部 ▲小荷物運搬仕候 金泉電話四八番

日本郵船仁川出帆

大連行、太沽(天津)牛莊行 和歌丸 十一月十二日 高砂丸 十一月十二日 三河丸 十一月廿四日 正午出

仁川港町 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行 秀吉丸 十一月廿二日 後四時 大有丸 十一月廿七日 後四時 神代丸 十一月廿五日 後四時 ○君が代丸 十一月十六日 後四時 ○印大阪直行

仁川港町 高杉回漕部 電話五十九番

共同汽船仁川出帆

芝罘、大連行 共同丸 十一月十八日 十一月十九日 午前十時

本町四丁目 共同汽船株式會社 電話一七三番

仁川代理店 野口商會 元山代理店 田口回漕店 京城取扱店 河村運送店

朝鮮郵船

本社 電話長一九五三番 釜山支店 元山出張所 仁川港佐藤町 仁川港代理店 木浦港代理店 山野回漕部 京城南大門 松原運送店

○開門より釜山名地經由雄基行(但し×印あるは三陟寄港せず) ×三浦丸 十一月十日 ×成鏡丸 十一月二十日 京畿丸 十一月廿四日 忠清丸 十一月廿九日 釜山發

○元山より北鮮各地經由雄基行 穩城丸 十一月十四日 鏡城丸 十一月十七日 成鏡丸 十一月廿二日 三浦丸 十一月廿六日 忠清丸 十一月 日 元山發

○浦潮行(元山より城津清津經由) 平安丸 十一月十一日 元山發

○元山より釜山將門行 三浦丸 十一月廿四日 京畿丸 十一月十五日 元山發

○元山より沿岸寄港釜山將門行 成鏡丸 十一月廿日 忠清丸 十一月 日 元山發

○鬱陵島行(浦項及各地經由) 君德丸 十一月十四日 釜山發

○浦項行(長生浦方魚津甘浦九龍浦經由) 江陵丸 毎日 釜山發

○濟州島行(長承浦巨文島經由) 慶寶丸 十一月十二日 釜山發

○釜山、麗水間 統營丸 巨濟丸 毎日 釜山發

○濟州島行 西廻 公州丸 十一月十七日 東廻 公州丸 十一月十四日 木浦發

○木浦より巡航 天順丸 三日目毎に 木浦發

○木浦ヨリ多島海各島行 慶興丸 十一月 日 木浦發

○仁川より群山其他各地經由 晉州丸 麗水丸 十一月十八日 仁川發

○仁川鎭南浦行(海州其他各地經由) 宗信丸 十一月 日 仁川發

○海州行(江華島海州經由) 全州丸 南陽丸 毎日 仁川發

○青島行(芝罘、大連經由) 江原丸 十一月十九日 仁川發